京城日報

二千五百號夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六十五錢 三ヶ月分金一圓九十五錢 六ヶ月分 … 前金 郵税 …
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓 ▲三號活字同上 ▲四號六號活字廿一字詰金八拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 …

◎暹羅對獨墺宣言
獨墺汽船九隻捕獲

暹羅國政府は二十二日獨逸及び墺洪國に對し戰時狀態に在る旨を宣言し同時に同國港泊中の獨墺汽船九隻（此總噸數一萬九千噸）を捕獲せり（新嘉坡電報）

◎黑斯達暴動重大
舊砲臺二箇所奪取す

クロンスタツトに蜂起せる暴徒は勢猖獗にして舊砲臺ピーター及びポールを奪取せり（露都電報）

◎露國改造內閣宣言
危急存亡の秋は來れり

改造後の臨時政府は布告を發し『市民よ、危急存亡の秋は來れり』との語を冒頭として曰く『今日の主要問題は我全力を揮ひて外敵を討滅し無政府黨若くは反革命派の騷動を打破して新政府を防衛するにあり、政府は來る八月聯合國會議を召集し聯合國外交政策の一般方針を議定し露國革命の原則を超脫せざる範圍に於て步調を一にせん事を期す、九月舉行す可き憲法制定會議の選舉に就ては目下準備中なり、又直接無制限無記名の普通選舉を基礎として市參事會及地方議會自治を布かんとす且つ政府は近日命令を發し一切の階級社會を廢し軍事上の從勳者に授與せる以外の勳章を撤廢せんとす』と（露都電報）

◎前露首相辭職理由

前首相リユウオフ公の辭職は臨時政府が共和政體を直ちに宣告し土地均分制度を實施せんとするは憲法制定議會の最高權を壟斷するものなりと認め之に反對の意志を表示せる爲めなりと（露都電報）

◎米正規兵採用抽籤

米國政府は徵兵令に依り登錄せる者の中より正規兵及傭兵六十八萬七千人を抽籤に依り採用せり此內には日本人あるも多分除外せらるゝ事となるべし（紐育電報）

◎夏休と閣議

內閣會議は來週の定例閣議より暑中休暇中每週水曜日に一回開會するに決せり（東京電報）

◎拓殖調査官制
七月三十一日發布

拓殖調査委員會官制は七月三十一日拓殖局官制と同時に發布施行さるべく該調査會は委員廿名より成り寺內首相自ら統理す可しと（東京特電）

◎遣米大使發期

石井遣米大使は二十八日橫濱解纜のコレヤ號に搭乘渡米の途に就く事に決定せり（東京電報）

◎大屋鐵道長官
自然退職か

朝鮮總督府鐵道局長官大屋權平氏は鐵道併合に伴ふ官制改正の結果自然退職となる可しと傳へらる（東京特電）

◎候補生採用數

我海軍の本年度に於ける士官候補生採用數は四百九十六名なりと（東京電話）

◎有賀博士の支那時局談

政府の基礎鞏固を加ふ

支那顧問有賀長雄博士は二十四日商船哈爾賓丸にて門司著午後七時十分下關發列車にて東上せり博士は目下の支那時局に關し語りて曰く

『張勳氏は目下表面は和蘭公使館に隱れ居れる事となれるが實際は和蘭公使館の監督の獨逸兵營中に在りて鐵條網を張り廻らし內外の交通不可能なるなど要害堅固たり之に對し支那政府は外交團に交渉し外交團は和蘭公使へ交渉中なるが假令張勳氏は支那政府に引渡さるゝ事ありても死刑に處する事無かるべし尙外交團は北京攻防戰に際し獨逸兵を解放し張勳を助けし事等の和蘭公使の單獨行動は心よからざる事なり。宣統帝の優遇廢止は同家に對し同情を有する段氏の決して爲さゞる處なる可し宣統帝の病氣なるは余の聞かざる處なるが過般砲彈の爲め驚愕せしは事實なれば其の爲めには非ざるか尙ほ傅倫貝子自殺は全然虛報也支那政府は最近鹽稅剩餘金を受取り財政豐かとなり漸時政府は基礎鞏固となりつゝあるが段氏は議院を解散して新に參政院を作り議員を再選す可し斯くの如き事は馮國璋の北上を俟ちて決する筈なりしが其の後中止となりしより決定を見ざるなり。南方の北方反對は從來の例によると明かなる事にて之に到底融和の途無かる可し南方側の消息は北京よりも却て我內地の方其消息明かなり。黎元洪氏の渡日は余は未だ確聞せず』と（門司特電）

◎和歌山視察團來鮮

和歌山縣敎育視察團一行十九名二十四日夜來釜二十五日午前十時半發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎警官定員改正

警務總監部訓令を以て二十五日附全南、慶北、慶南、黃海、咸南の內鮮人巡査及び巡査補の定員改正を行ひし結果全道の巡査部長は二百八十八人となり內地人巡査は一千八百四十二人朝鮮人巡査は二百三十八人巡査補は三千零六十七人合計五千四百三十五人となれり

◎地查委員會

二十五日午前九時より總督府第一會議室に於て第一等土地調查委員會を開き土地查定不服申請に關する件に就き審議の上十時散會したり

◎鐵道統一協議

入京中の國澤滿鐵副總裁久保庶務課長上田秘書役の三氏は二十五日午前九時二十分自動車を驅つて鐵道局を訪問し樓上長官室に於て鮮鐵幹部と兩鐵道統一後に於ける各方面の事務協議を行なひたるが鮮鐵側より三本營業課長橫井汽車課長和田總務課長稻垣工務課長山田建設課長代理河野經理課長代理並に鷲尾參事等列席したり

◎長官技師退官

鮮滿鐵道の併合統一實施と同時に現鐵道局長官大屋權平氏は別項東電の如く退官し歸東する筈なるが氏は永年內地及び朝鮮の鐵道事業に貢獻する所少なからざるため貴族院議員に勅選さるべしとの說あり又建設課長勅任技師小林新次郎氏は宿痾のため夙に鄕里鹿兒島へ歸省療養中なるが氏も亦同時に退官となるべし

◎滿鐵と駐鮮理事

滿鮮鐵道の統一後滿鐵にては朝鮮鐵道經營のため理事一名を京城に駐在せしむべしとは既定の事實にて來京中の國澤副總裁も其の旨を語り居れるが擔て何人が來鮮して其の任に就くべきかは未だ朝鮮鐵道經營本部の名稱決定し居らざる如く不明なり唯聞く所によれば滿鐵本社詰の理事は川上、佃、改野、樺山の四氏にして川上氏は交涉局長たり佃氏は經理部長たり改野氏は地方部長として沿線の委任行政事務を統べ樺山氏は鑛業部長たり四氏何れも其任を去り難きものあるは勿論又朝鮮に於ける滿鐵の經營は鐵道專務に付可成鐵道出身の人を可とする理由あり此の意味に於て藤田理事最も可なるべきも氏は山東鐵道管理の任にあるため其の來鮮を見るは素より困難の事情あるべし結局駐鮮滿鐵理事は現鮮鐵の幹部より之れを拔くか若くば滿鐵高級社員より新任理事を登用し京城に駐まらしむるか二途其の一を擇ばざる可らず果して然らば國澤滿鐵副總裁と別懇なる現鮮鐵理事營業課長三本武重氏其の任に就くか滿鐵先任高級社員河村調查課長若くば久保庶務課長理事たらずやと傳ふ

◎貨車運賃徵收改正

鐵道局にては從來其の二十一噸積貨車に米大豆を十數噸積み込みし場合も其の相當噸數の料金を徵し之れを輸送しゐたるが昨今鮮鐵は諸種の關係より其の貨物激增し常に輸送力の不足を患ひつゝあるため其の輸送力の經濟的使用並に今日の如く荷動き活潑なるに至らば車扱ひは其の積載所定噸數により料金を徵するも必らずしも荷主の苦痛多からざるべしとの見地より來る八月一日以降一車積みは其の現積載噸數の如何に拘はらず二十一噸分の運賃を徵收する事となりたり尙ほ米豆及び他の雜穀と合せて貨車の容積を充塡し然も噸數は二十一噸に達せざる場合も同じく二十一噸分を徵する由

◎鐵道局新任技師

鐵道局技手 杉加熊男
同 佐藤義正
同 近藤銑太郎
任朝鮮總督府鐵道局技師（七等）

◎秋山大將動靜

目下北鮮部隊第二期末檢閱巡視並に國境踏査の途に在る軍事參議官秋山大將一行は去る二十一日咸興守備隊の巡視を最終とし二十一日より雄基、慶興、琿春、會寧、淸津等の地理實査を遂げ淸津一泊二十六日午前十時淸津出發二十七日午前九時元山に上陸し九時四十五分元山驛發列車に搭乘し同日午後四時五十六分龍山驛着歸任の筈

◎隈部大佐榮轉說

京畿道警務部長憲兵大佐隈部親信氏は愈々少將に陞進の上關東都督府警視總長を兼任すべく轉じ關東憲兵隊長に榮轉することゝなり不日任命發表を見るに至る可しと傳へらる

◎村瀨取締役の支店長就任

內國通運株式會社取締役村瀨鎌八郞氏は目下入京中なるが氏は同社京城支店長に就任する事となりし由

◎京畿道と特作物

京畿道管內に於ける棉、大麻、苧麻其他數種特用作物栽培は當局の調査する所に由れば大正五年中に於ては

▲在來棉 一千五百三十三町二反歩の作付反別に對し七十九萬六千六百六十六斤の收穫あり此の一反當り收穫五十二斤なり

▲大麻 四百六十八町六反歩の作付反別に對し七萬四千四十四貫の收穫あり一反當り十五貫八百匁の收穫

▲苧麻 作付反別三反歩收穫高二十八貫一反當り九貫三百匁

▲荏 作付反別一千三百九十二町歩に對し八千七百七十七石の收穫あり此の一反當收穫高六斗三升一合

▲胡麻 五百四十八町一反歩の作付反別に對し一千六百六十五石の收穫あり一反當四斗四合の收穫

▲莞草 作付反別二百八十八町七反歩にして此の收穫高八萬八千八百十三貫即ち一反當り收穫三十貫九百匁なり

◎府稅滯納處分

大正六年度第一期府稅滯納者に對し府稅務課にては本月始めより滯納處分を執行し動產其他の差押處分に著手せしが七月二十三日現在調査に由れば動產滯納處分件數六百五十七件にして此の稅額六百六十一圓を算し內處分後納稅件數三百三十一件此の稅額三百六十七圓にして目下動產引揚中のもの三百二十六件稅額二百九十四圓餘なり而して通貨の差押件數は九百三十一件此稅額三千二百八十二圓に及べるが從來府當局は差押動產の公賣に關しては豫め滯納者に公賣日を通知し居りしが之は元來規定に由る通知に非ず便宜の取計に屬し居れるを以つて府當局は此際該通知を全然廢止する事としたりと即ち稅金滯納に由る差押動產は當然公賣に附せらるべきものと知るべし

◎露貨換算率下落

東淸及び烏蘇里鐵道等の場合に於ける日滿貨物引換代金換算率は七月四日以降日貨百圓に付露貨二百三十四留なりしが二十三日より當分の內露貨二百四十留となれり

◎平安丸浦鹽直行

朝郵遞船平安丸は既報の如く二十三日山入港二十四日午後一時甲板上に地官民有志を招き披露宴を張り同港より浦鹽輸出の白米一千六百噸を滿載し二十四日夜九時出帆浦鹽直行の途に就ける旨本社に打電ありたり

◎咸南の足尾銅山
無盡藏の鑛脈

京城方面を中心とした鑛山熱も去る事であるが、昨今例の久原及び三井の咸南に於ける銅鐵採鑛狀況は遙かに將來足尾其他の累を壓するに足るべき極めて前途有望なる鑛山である三井のは端川を中心とした大鑛區で目下其の鑛區四里四方中の一部を開掘してゐるのみであるが此鑛の含有量が七億噸ある見込である。さうして其の鑛脈に捗つてゐるといふに至つては如何に其の有望さ加減か推測されるではない歟。兎に角

▲未掘の大鑛脈 が端川より利原に走り更に有名なる甲山に到るものであるが、此の三郡の山川は到る處鑛物ならざるはなく、彼方の方に銅鐵鑛があると思へば、此方の方には銀鉛鑛があるといふ調子で、山また河に果た谷に丘にギラ〳〵鑛物の光つてゐる樣は初めて見る者の異樣に感ずる所であらう。又た久原の方では一箇月一本八貫目の銅を一萬本づゝ造つてゐる。之に要する石炭が二千噸、コークス一千五百噸、其の他木炭も多量に使用してゐる。從事員は內地人店員六十一名、同職工鑛夫四百四十名、鮮人三千十九名、支那人二百名、之に要する給料が一箇月七萬七千圓。であるから物價の高きことは驚く許りで一等米一石三十五圓二等米同三十二圓、淸酒（京にて六十錢位のもの）一升一圓、サイダー二合入一瓶二十錢、麥酒一本四十錢、鑵詰（パインアップル）五十何錢、ソース三十五錢、半紙百枚二十五錢、封筒（粗惡品）百枚迄三十錢ライオン齒磨一袋九錢、蜂印香竄葡萄酒一本七十五錢といふ高値であるが、運賃の關係上何うしても此位にしなければ賣らねば引合ぬのである。故に久原では日用品の購買組合を設けて白米一等一升二十七錢五厘、二三等米二十六錢より二十四、二十二錢、湯錢大人一錢としてゐるが、是れが爲め一箇月

▲一萬近くの損 をしてゐる何故こんなに損をしてまで店員、職工、鑛夫を優待するかといふに職工鑛夫を優待して置かねば、三井其他の鑛山へ奪はるゝ懼れがある爲めださうだ。更に久原では專屬の病院を設けて醫學士を院長とし之に從事せる醫士、助手、藥劑師、助產婦、看護婦等が十三名ゐて、凡て店員職工鑛夫及び其家族に限つて無料で診察施藥をなすといふに至つては如何に厚く入れた事業であるかと解らう。目下是等の鑛山を當て込みに南鮮其他の地方から入込む諸商人は頗ぶる多數である（[illegible]田咸南第一部長談）

◎化川水電利用
金剛山電車說は虛報

江原道通川郡及び淮陽郡に跨がる化川河の水力を利用して發電水力を起し窒素肥料の製造を行はんとする事業計畫は東京大田黑重五郞氏外有力實業家により企畫され大正三年其の筋に出願中なりしが此程事業を許可されたり而して其の內容を聞くに化川河の水力により四千馬力を得石灰石より窒素肥料を製造せんとするにあり原料の石灰は之を江原道に求むべしと云ふも若し同道內適當の個所に之を發見し得ざれば敦賀よりこれを移入すといふ而して資本金は五百萬圓とし工事は許可後一年以內に著手すべしと云ふも本事業は出願當時と財界の事情並に設備費等に頗る變化を來し居るに付其の早急の著手は或は困難なるべきかとも云ふ尙ほ右水電が金剛山探勝電車を經營するやう報ずる者あるは全然虛說にて何等夫等の計畫を含み居らずと

◎朝鮮製糖創立總會

愈々朝鮮製糖會社創立總會は八月六日午後一時東京日本橋俱樂部に於て開催すべし右會社の用務を帶びて入京目下巴城館に投宿中の發起人岡村左右松氏は創立總會出席の爲め不日退京すべしと

◎大阪財界近信

▲石炭先高見越 需要者側は炭價の前途高を見越して買進み石炭商は賣惜みの商狀なるに運賃界は鐵道院の特約率廢止實行により運賃は殆んど天井知らずの足取にて最早門司橫濱間は十圓臺を突進せんとする氣勢を示し前途殆んど强材料のみなれば此まゝ押し進まば秋季需要期に入りて供給愈々逼迫し一段の高値を現出するならんと

▲木造船の旺盛 三菱にては既に石炭輸送に充つる帆船の建造を天草御領長崎小菅等の造船所に數隻を注文中の處天草にて建造せし九州山丸（一三九噸）は既に竣成し目下建造中の栖木山丸追風丸も近く竣成すと此外目下米國に注文中の千噸船の帆船も竣成し是又近く廻航するやにてこれ等は全部石炭輸送として使用する由建造費も昨年來船價騰貴の結果一噸船體丈にて約七十圓を要し之に附屬品等を加ふれば優に百二十圓內外を要すと

▲保險協定問題 既記の火災保險協定案は東京の海上サン保險と大阪の豐國火災神戶海上委員となり審議中なるが本月末發表八月より實施すと何分大阪市內各區等級は數年來の儘なれば都市の發展に伴ひ修正の點尠からず發表の上は多少被保險者にとりて等差の問題を惹起するやも知れずされど倉庫業者銀行業者其他の特權契約者定數に基き二箇月前に通牒を發し孰れも料率改定の承諾を求め居るより此點は何等の問題を起す憂ひなからんと因に該協定に加盟するもの左の如し

サスプリチユシユニ保險代理所、ストロング商會、米井商店、ニユージランド支店、ローヤル代理店、常盤商會、大倉組（以上外國）帝國海上、東邦、豐國、帝國、火災、千代田、大阪海上、浪速、福壽、日本、橫濱、共同、東京、東京海上、明治、神戶海上（以上內國）

▲朝郵傭船希望 朝鮮郵船は歐洲航路の貿船を計畫し夫々物色せるも到底船價昂騰の際比較的運賃の低廉なる同航路に就航せしむるは採算の

【馬山】

▲上半期經濟狀態 本年一月以降六月に至る上半期間の馬山經濟狀況を聞くに移出貿易は昨年度の米實收額は稀有の豐作なりしと確聞するや期米及び正米共直段一時に崩落し春來一層の不振を呈せしが農家は先高を見越して賣惜みたる爲め回米なく爲めに移出不引合に陷り荷動きなく市場閑散資金の需要も起らざりしが四月末に至り內地の定期正米共外國輸出好況の報到りて然騰し買付注文頻りに到り五月に入りて相當手合を見に米爲めに半減しの期米は奔騰一方に强氣を現せし資金の需要遽かに起り其後內地より當地の米界も益々元氣付きたるも地方農民は前途の强氣を見越したる且つ殘米殆んど出盡したるより精米用の原料にさへ差支へ仁川鎭南浦方面より移入を仰ぐ有樣と米價の騰貴は西貢米の輸入增せるとにより資金の需要頻繁となり六月に入りて經濟界は異狀の活氣を呈せり然して一方輸入の方面を觀察するに季節は需要準備として綿布諸雜貨類其他の賣行頗る良好にして代金の回收圓滑に金融界は近年なき殷賑を見たり

▲白水參課長 白水淡氏は廿二日來馬鎭海重砲兵大隊檢閱二十三日滯在せり

▲負傷者の全癒 先に自動車轉覆の爲め負傷せし東鄕中將柵町中監督官副官の三氏は何れも全癒東鄕氏は轉地療養として鄕里鹿兒島市來溫泉に入浴の爲め歸省せし外何れも出勤執務せり

▲昌原郡の製鹽 同郡に於ける本年の製鹽高は昨年降雨頻繁なりし爲め非常に不作なるに反し本年は製出成績良好にして前年の約二倍以上に達したり

▲昨今の馬鎭 馬山鎭海の昨今は避暑及び海水浴客追々增加し相當に殷賑を呈せるが聞く處に依れば京城大邱邊は目下百度近き熱暑なるに拘らず馬鎭は今日迄九十度に達せること僅々二日間にして平均八十三四度內外なることとあるより京城方面より避暑又は海水浴の爲め來杖するもの多し

人事消息

▲渡邊宇太郎氏（鎭海要港部經理部） 二十四日附保安課へ轉任
▲白井水城氏（辯護士）
▲中野有光氏（保安課長） 廿五日退京 日程を變更二十五日午前內地へ向け出張
▲久保武氏（醫學博士） 二十五日午前大邱へ
▲今津明氏（中央試驗場技師） 二十五日午前東京へ
▲木川幸介氏（水原模範場長） 二十五日午前入京
▲長野虎太郎氏（木浦新報主筆） 二十五日午前退京赴任
▲松元光三氏（貿易商） 二十五日朝入京原金旅館へ
▲廣島高等師範學校視察團十二名 二十五日朝平壤へ
▲埋田寅八氏（鎭藥家 栗田民雄（同） 二十五日夜退京の筈
▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長） 同上
▲須藤素氏（江原道第一部長） ▲齋藤龍三氏（慶北道第一部長） 二十五日朝退京
▲堀池常作氏（大邱辯護士） 二十五日朝入京不知火へ

●海雲臺から東萊へ
海と山と温泉に（七）
□□近年に無い大漁の夜□□ □□濱に積上げた鰯の山□□

涼しい風が一としきり強く吹いて紫がかつた夕暗は水平線の奥から一面に廣がつて來た今夜は網曳を見る約束であつたから私は夕食を早く濟まして宿の人達と一緒に籠を提げて濱に出た濱には漁師たちが騷ぎながら飛び廻つて居る耋のお爺さんも遣つて來た『お客さん今晩は素晴しう漁れますぜ、アレ見さつしやツラ海の中さ一段高けね段が出とりますだ床の間のやうに、あの一段高けねのが鰯つ子ですぜ素晴らしいもんでお、ソラ漸々此方さ近寄つて來ますぜソーラ』と頻りに指をさす私共にはその床の間のやうに海水が一段高く成つてそれが追々岸の方に近寄つて來ると云ふのは見ねないただ

◇◆◇海は靜穩なる夕暗な漁は俄にして騷然に暮れ

てゆくばかりであるやがて櫓聲勇ましく一隻の船が漕ぎ出したそれに連れて濱に積んだ網がツル〳〵と海の中に這入つてゆく船が五六町の沖を半圓形を描いて廻ると網は張られたのである海も陸も暗い夜に成つた船から一つの提灯が振り上げられた網を引けと云ふ合圖だ網の兩端の綱は濱に据ゑて二つの轆轤にグル〳〵巻き網は漸く陸地に近寄つて來る船からは右が負けて居るとか左が負けて居るとか提灯の火で合圖爲て網を平に引寄せさせて居る其の度每に双方の若い者共は

◇◆◇二段と木遣の調子を張り上げて勢よく巻き

寄せる鰯からは叉網の中に何の位の量の魚が這入つて居ると云ふ事を火の相圖で知らせる此の晩の信號に由ると近年稀なる大漁だと云ふ合圖であるから濱では大騷に忙しい十五六も並んで居る大釜の下にドン〳〵石炭を焚し其れに湯を煎かして煎魚を拵へる仕度をして居る此の漁場ばかりではなく今夜は濱一面に大漁と見ねて非常な騷ぎで有る沖には巾著網の漁火が燃えて海岸一面は祭の晩のやうに明くなつた網が岸に近寄ると

打寄る波は水と魚と半分々々で一波每に砂の上に打上られてバチ〳〵と

◇◆◇漁師の女房や子供が濱に上る鰯を眠なさ

素捷しこく籠に拾ひ込で居る網は鰯が一杯の爲めにどうしても十間位の處から動かなくなつたすると兩方の轆轤に取付いて居た漁師共は手に手に大きな籠を以て海の中へ飛込んで行つて手網でドン〳〵鰯を抄くい込んでは釜場に運んで行く釜場には湯が沸ぎつて居るから片端から籠に入れて生きたまゝの鰯を煮ては蓆の上に廣げる蓆は廣い砂濱から向ふの松林の方まで敷いて行くそれでも煮切れない部分は濱へ大きな穴を掘つてそれへ蓆を敷いて鰯を其の中に運び込むと共處にも此處にも忽ち鰯の山が出來る山積の鰯はメ粕にする斯うして二時間ばかり

◇◆◇三四十人の荒ら男が網を引つ張つて疾風の如く

に働いて居たが網の中の鰯は却々減らない、その内に鰯は波と網に揉まれて死んで終ふから煎魚には成らないさうだ私は宿の人達と一緒に大きな鰡や鯛を籠へ一杯貰つて十一時頃宿に歸つた漁師たちは徹夜して其の鰯を上げ賑煮にしてはメ粕を拵へて翌日の正午頃までかゝつて居た、此の晩は一漁場で平均三千圓位の獲物があつたそうだ(於海雲臺勝村生)

煎魚こメ粕の竈場—海雲臺にて—

●呉服類の騰貴 内地にては綿絲綿絲暴騰し呉服類は從て騰貴せり(大阪特電)

●誤つて射殺す

全南海南警察署莞島巡查駐在所の巡查補金寛俊(二五)は盛漁期のことゝて漁夫取締りの爲め巡查部長に隨ひ青山島に出張し七月六日夜同島東海岸にて内地漁夫等が賭博をなし尚不正漁業者の出沒を監視する爲め外一名の巡查補と共に出發する際各一挺宛の拳銃を護身用として携へ同面道清里朴成賢方に立寄りて現場に向ふ途中寛俊は平素眤懇なる同面書記鄭漢鳳に出會したる際雜談中拳銃なる物を見たことありやと之れを示さんとしたるに裝彈しあることを知らざりし爲突然銃彈が發射して漢鳳の左顎部より耳の下に貫通し爲に同人は翌日遂に絶命するに至りしより急報に接し檢事出張して取調をなしたり

●仁川の海水浴

仁川月尾島海水浴場は準備目下進捗中にて來る二十九日の日曜を以て開場式を行ふ可く入場料金は通船賃共に七錢開期中通券は七十錢と決定したり

●廣島縣下に又も虎疫

廣島縣沼隈郡東村船夫岡田松太郎(五七)は二十三日虎列拉にて死亡せり(大阪特電)

●福井縣機業家職工を解雇す

福井縣鯖江町の機業家は生絲騰貴の爲め休業し千六百名の職工離散せり(大阪特電)

●神戸上水缺乏

神戸水道の上水缺乏し一日一回宛の給水を實行しつゝあり(大阪特電)

●百數十名の船頭無斷缺勤

神戸棧橋會社艀船頭百數十名は無斷缺勤せり(大阪特電)

●諏訪丸歐洲へ

郵船歐洲航路第四次武裝船諏訪丸は二十五日神戸を出發せり(大阪特電)

●病苦から自殺

熊本縣生れ當時京義線黄州驛出札荷物係掛坂元貞次(二七)は七月二十三日午後十一時半驛より程近き自宅に於いて出刄庖丁を持ちて自殺を遂げたり坂元は一昨年七月一日通信事務員となり京義線定州驛に勤務中妻を迎へ夫婦仲も至つて睦しく暮し居る内貞次は腦病に罹り去る四月黄州に轉せしも其後益々病氣は重るばかりなりしが自殺の當日は午後一時頃勤務中途に精神に異狀を呈し歸宅後前記の始末に及びしものにて妻女の悲歎一方ならず急報に接し黄州警察署よりは岩崎署長森警察醫を隨へ現場に出張檢視を遂げたりと(平壤)

●獨飛行機英國を襲ふ 各所に爆彈投下せしも損害尠し

二十二日十六臺より成る獨飛行機隊英國を襲擊し各所に爆彈を投下せるも損害輕微なり獨機は英國飛行隊の邀擊に逢ひ逃走せり(倫敦電報)

●赤痢 京城永樂町一丁目七十八番地金澤ひさ(五二)は二十三日疑似赤痢と診斷、古市町三十五番地大石しづ(五二)は二十四日赤痢として何れも入院せり、龍山二村洞三百二番地金召史(五二)は二十三日赤痢として診斷さる

●鶴田畫伯歐洲へ 久しく帶京中なりし畫家鶴田櫟村氏は廿五日午後九時四十分南大門發平壤奉天哈爾賓等を經歐洲漫遊の途に上れり

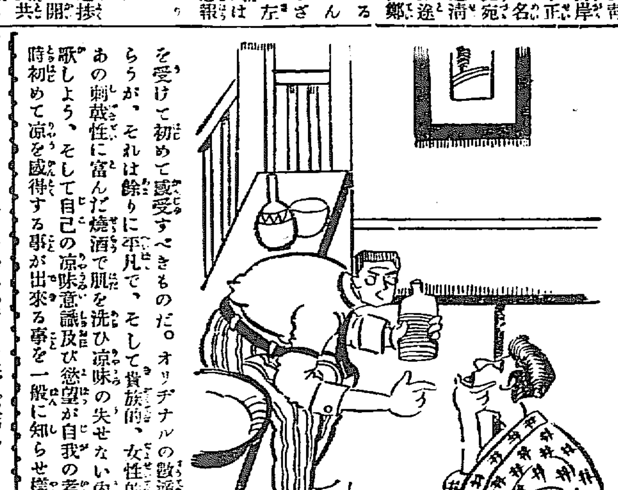
●總督府と倶樂部 二十五日午前十時より總督府第一會議室に荻田總務局長、入見農務課長、有賀稅課長、岡土木課長等會同し、從來の大正、倭城、會洞、西大門等總督府各部局各個の倶樂部を廢し別に一大倶樂部を創設するの件に就き協議する所ありて正午散會したり

●鑛石船の沈沒 咸南利原郡南面遮湖港金椒島の沖合にて十一日夜鐵鑛石を積める日本形團平船(二十噸)が強風の爲め梶を折られ浸水して沈沒せしが乘組鮮人二名は救助され船體一千圓の損害を蒙りたりと

●猩紅熱 龍山漢江通十一番地の二百七白阪すみ子(七)は二十三日疑似猩紅熱と診斷入院す

一室内凉味一（2）

同業—君は洗面器に燒酎の數滴を滴らし顏を洗つて凉味哲學を說く、要するにだね藝術でも宗敎でも内面的、主觀的でなくては一顧にも價せない樣になつたが此凉味といふ奴は外面的、客觀的でなくては駄目だ、外界の刺戟を受けて初めて感受すべきものだ。オリヂナルの數滴も凉味は呼ぶだらうが、それは餘りに平凡で、そして貴族的、女性的だ吾なは須らくあの刺戟性に富んだ燒酒で肌を洗ひ凉味の失せない内に朝鮮の夏を謳歌しよう、そして自己の凉味意識及び慾望が自我の考察の對象となる時初めて凉を感得する事が出來る事を一般に知らせ樣』と(甑雄)



●ハリス博士の救はんとする女
▽何うして斯んな泥水の淵に沈んだのか

ハリス博士が新町貸座敷某樓抱娼妓某女(三三)の許に通はるゝと聞き人々の驚異の眼を瞠つて其の娼妓の誰なるかを物色し、中には

●假令千金を積んでも碩德の博士から洗禮を受けた彼女を一日も早く濁り江の淵瀨から、救ひ出さうとして居る篤志家もあるといふ、併し何分にも博士は斯ばかりの事は救世の道に從ふ身の左までに騷ぎ立てられては却て迷惑の至りであると云つて、此の事のみは如何に人から問はれても

●固く口を噤んで物語らない。爲に其の筋の人々も痛く博士の陰德に感じて一切人に漏らさない方針を採つてゐるので、遺憾乍ら吾社も博士の意志に背くのは却て非禮に亙るを以て、特に其の妓の名前を秘し置く事とする。二十三日の本紙上に『ハリス博士の新町通ひ』なる山縣五十雄氏の記事が出るや、忽ち洛中洛外の大評判となつた。而して山縣氏は、白隱禪師の例を引て

●博士の德を讃へられたが、實に聖僧碩德に二なく、之を佛說に言を借らば、博士は實に白隱大禪師の化身であるかも知れない。而かも博士が本年七十幾歳の老軀を以てして、九十九の迷はざる小羊を野に置き乍ら、一の迷へる小羊を救はんとしたる宗敎家として最とも貴き勇敢なる行爲に對し、世人は博士に向つて

●有ゆる讃嘆と感謝の意を捧げて措かないであらう。殊に云ふ迄もない事であるが、博士の彼女を導くや、嚴肅なるが中に溫言を交へ、仲居其の他の者も同室にゐて、彼女の感極りて鳴咽するものを見ては、共に覺わず貰ひ泣きをする事が屢々であるといふ。固より高德な博士は夜間彼女を訪問して人に疑惑を起させる樣なことはなく、山縣氏の記事にある通り、人に賴まれて傳道するに過ぎぬのであるから、晝間

●客無き時に彼女を訪問するのみであつた。是を世間が誤り傳へて、玉代でも拂つて通ふ樣に云ひ觸らすのは甚だ不埒千萬と云はねばならぬ。さるにても彼女の素性は如何に、身元を聞けば歷乎とした兩親が橫濱の某所にあり、而かも土地の某高等女學校まで卒業して、嘗ては基督敎の

●洗禮まで受けたものであるといふ。何うして彼女が斯んな浮ぶ瀨なき泥水の淵に沈んだかといふに、理由を聞けば先づ斯うである。(つゞく)—一記者—

讀者文藝（一等に五十錢の書籍券を呈す）

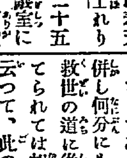
△物は付「憎まれる物は」

▲隣の愛犬 龍山こまや方 岡本小草

▲不人情な金持 京城 東海

▲まじめな社員 京城 忠一吉

▲八軒長屋の家主さん 烏致院 溪水生



京城にはパナマ帽とか麥稈帽子とかを專門に洗濯して歩いてゐるものが五六人ある▲電氣乾燥とか藥液郎席洗滌とか凡て行く先々で洗濯するのである▲値段は帽子にもよるがパナマ一個三四十錢乃至四五十錢麥稈同二十錢乃至十何錢で待つてゐる間に洗濯するのである▲南大門外の某下宿に居る一人の男は藥液洗滌を行るといひ私は帽子許りではありません家屋の洗濯も致します▲何處で行つたかとのお尋ねですか……第一樓で行りました第一樓は六疊敷の座敷三間でしたが▲天井から柱、閾を洗つたので新らしくなりました▲料金ですか五圓頂きました手傳を二人雇ひましたから一日一圓十錢頂かなくては引合ひません

●藥草を盜掘す 間島頭道溝支那人紀倩桑(三十)張昌升(四二)は咸北茂山郡三長面農事洞栁谷洞なる營林廠所管森林に入り六月十四日より七月七日まで藥用黄蓍約一千斤を盜掘し…にて各罰役二箇月に處せられたり

●訂正 本紙七日朝刊三面掲載丸一綿布商組合四千貫賣出し廣告中(丸一)…

(第…回課題入賞者) 一等 四名 …二等 …

●課題及募集規定

●募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に記上の雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲期日…

天氣 晴れ一時曇り

商況

●東京公債直取引(東京特電) 二十四日川来値 五分特別 九六、一〇 五分利 二一回四分 一回四分 甲五分

●深川在米特電 二十四日現在高 朝鮮米 盛岡米 内地米 九五、九〇

●東京期米特電 二十四日前場 八月限 三八、一九五 三五、六四三 三六、三一 一、六六七、一十 役場

●大阪株式 二十四日前場 後場 [illegible]

●大阪三品特電 二十四日前場 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 十二月限 四七二、九〇 四七三、〇〇 四六三、〇〇 四六〇、五〇 四六一、〇〇

●大阪期米特電 二十五日 天満祭に付休會

●下關期米特電 二十五日後場 氣迷ひ無味閑散 中限 先限

●雜報

●綿糸布現物小安 二品市場は二十四日立會を開始されしが後場の入電は詳細不明ながら前日前場の成行きは昨報の通りなり比して更に二四圓方高かりしもの〻如く中には綿布突飛の暴騰を傳へたり今午前中の大阪市場は
現物 角セ十六手四百 五圓双女十手三百 六十圓綿布は龍レ 一十二圓九十五錢 九龍十三圓鶯十二 圓八十錢三銘十三 圓の入電

●麥は產地高 大麥は地方農家の喰ひ繋ぎに多く賣り吝みて出廻り少きため手堅く

●引締り約百丁方 …大手筋の小麥買附け行

●鴨江材値上げ 林檎 …其他の諸材は夫れ以下の範圍に止るもの

●染料ハ品拂底

●硫化染料迄に及ぶ

●織屋筋の見込み買

丸十仲買店 仁川海岸町三丁目 仁川米豆取引所仲買人 電話長九〇五番 八三三番

●殆ど品切れに瀕し居れり

●染色藥品類

●漸次手堅き市況

●新果出廻り増加

●期米强弱說

●南大門の廻穀

●釜山穀物 (廿五日)

▲釜山水産市場(廿四日)

●仁川期米 二十五日前場(小堅し)

兵庫天候曇天前寄 東京二十三圓四十六錢 二十三圓〇一錢

●依然保合

●京城正米

●京城雜穀 買附約一萬叺内外に上る 當地鮮人筋が

●市場零聞 ▲保合底强し ▲依然動かず ▲延て先限に買聲

丸二仲買店 仁川米豆取引所仲買人 主任 西川平治郎 電話一五九番 自宅電話七二〇番

仁川米豆取引所 二十五日の九月限 前場 寄付 止め 高値 安値 出來高 一節 二節 三節 四節 五節

現株賣買中値

白米標準値

小賣白米

露國婦人決死隊

▽檄文及び宣誓書を ▽各都市に配布す

十四日露都を發し神戸に向ふべく本月□日通過の浦鹽直通列車にて釜山を通過したる一英國商人は現今露國に於ける婦人の活動を語りて曰く 露都ペトログラードを始め其他各都市に於ける壯丁は勿論健全なる老幼者に至るまで

◆殆んど戰地 に出征し盡せる爲め從來男子の營業なりし郵便局内勤者、税關貨物監視人より會社事務員書記は殆んど女子の職業となり電車の車掌運轉手も大半は女子を以て補充し繁劇なる勞働にも從事せるもの少からず然るに余が露都を出發の際露都は素より沿道の各都市に於て女子決死隊員募集と記したる

◆大旗を飜し 左の檄文及び宣誓書を配布し居れるを見受けたるが眞面目なる婦人をも續々加入を申込み居れりと聞及びたり檄文及び宣誓書なるものを邦文に譯すれば

露國女子軍聯合會は全露國の女子に檄す

露國の自由及び幸福を尊重する者は速かに決死隊に加入し其生命と敵軍と力戰する努力とを吝むこと勿れ吾が決死隊は既に陸軍當局の認可を受たるを以て入隊希望者は

一、十六歳以上の婦人たること但し十六歳未滿の者と雖も父母の承諾を得たる者は此限りにあらず

二、入隊希望者は豫め同人の寫眞又は他の證明書を提出すべし

◆右の條件を 以て入隊を許可すべく入隊後醫師の身體檢査を經本隊の軍規を知悉せしめたる後左の條項に忠誠なるべく宣誓を爲すことを要す

一、國家の體面自由及び幸福の尊重

二、規律の嚴守

三、勇氣を保ち誠實なるべし

四、命令に因り任務に當る時は細心機敏、勤勉、堅忍なるを要す

五、體面を重んじ克く職務に當るべし

六、努めて生活上の趣味、衞生に注意し且つ苟も爭論等のことあるべからず

七、上司の意思を尊重し相互相信じ以て國家の安全を期すべし

以上列記する義務に違反したる者は露國婦人を侮辱するものとして嚴罰に處すべしと(釜山)

◎平南自動車數 平安南道に於ける自動車の總數は計十一臺にして之を所有主別とするときは平壤自動車商會五臺平壤竹中佐次郎一臺平壤ヒリップ二臺鎭南浦久原製錬所二臺鎭南浦島越商會一臺なり(平壤)

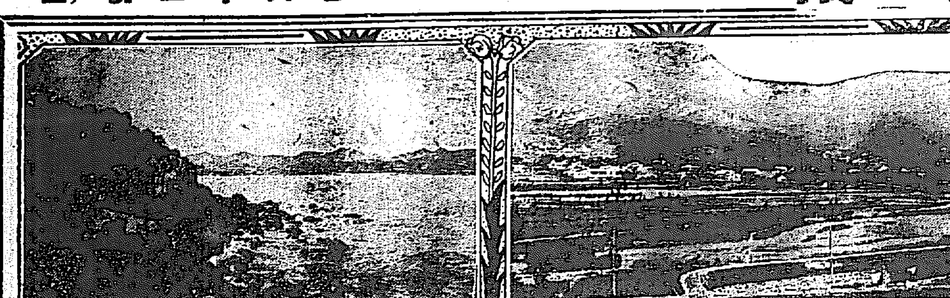
鯆は不漁 鯛漸く獲れ初む

仁川港内の鯆漁況を聞くに初漁期に於ては流網、鮟鱇網共に相當の漁獲ありて從漁者をして例年になき豊漁ならんと豫想せしめたるも十一日の

◆大暴風雨以來 全くの不漁續きにて流網は全然漁獲無く鮟鱇網と雖も不成績なりと、此れ降雨の爲めに海水の比重及び温度に變化を來したる結果産卵に適せず

◆沖合に移動せ るに依る可しと而して例年の經驗に徵すれば群游性の種類は時として非常の漁獲あるを以て鮟鱇網從漁者は此の先漁獲あるべきと信じ居る由漁期は今後二進間位のものなる可し鯛は月初數十艘の

◆漁船屆業島近 海に出漁したるも成績不良鯛は例年に無き不漁なりしも數日前より多少漁獲好況なりと(仁川)



東萊 海雲臺 探涼大會

盛夏涼を想ふの時費用と時間を最も巧みに節約し東萊、海雲臺の涼味を思ふ儘漁る兩社主催の探涼團は

會費 十二圓（滿四歳以上十二歳迄八圓）

此低廉なる會費を以て京釜間往復汽車賃を始め一切の費用を支辨又探涼會員乘用の汽車は三等車乍らも鐵道局の好意にて新造美麗の車輛に坐席の餘裕を圖り普通二等の快感を覺へ玉ふ可し

「思ひ立つ日が吉日!」

再び來らざる此好機を逸せず奮て探涼會の一員として參加せられよ

涼しい盛花 この頃の裝飾

花を愛づる心に變りはなく、別けて生花の内趣味、品、簡短是等の上から觀ましても先づ盛花がよろしからうと存じます、尚其上和洋何れにも適するといふ事も誠に好都合で

△殊に夏季 は生花ですと水が暑熱のためにわきましていぢらしいほど花が保ちませぬこれは花に命の水を朝々變へたく思ひましても生花ですから叉

△生け直す 時間が要つたりして、厄劫だからでせうが、花盛ですと盛つたまゝの渦巻を外へ移して水を變へる事も出來ついでに霧でも掛けますと一層引き立ちます、それに

△西洋室の 卓上花に致しますならば兩面に作りますと對座中も其馥郁たる香に醉うて、一層の涼味を味はれます

△盛花にも 色々ありますが、茲には盛花式挿花について申しあげませう、先づ主、客、複の三才にわけますなぞ一通りの規則は御座いますが、大體から申せば自由です、

△然し季節 に應ずるといふ事は大切で、常節では涼味に重きを置き、芒、女郎花、桔梗を主座に低を皆水面で見せた方が涼し氣で御座います、苔の黒松(但成るべく半直形の振り)を主座に

△其渦隱し に常夏をあしらひ、魚道を少し見せて客座には鷸草、紫の松葉牡丹をあつさり盛りましたなら宜しいでせう、叉兩面を作りまするなら雪柳を主座に兩面に張らせ、東屏風、百合をあしらひやはり

△魚道を見 せ、杜若を器に從ひ一株若しくは二株客座に致しましたなら水陸の別も出來まして面白う御座います、但し兩面の時は一面を垂形に、一面を直形にと心掛けませんと、締りなく廣がりをかしたものに成り勝です叉

△沼の景の 時は主座に河骨を客座に睡蓮をあしらひます、睡蓮は卷葉と開き葉を用ひますが、開き葉は水に浮かせます、そして花も水に浮かせますと、水も上げますし且また

△睡蓮の意 にも叶ひます總じて日本室は風情に重きを置き、西洋室は色彩に重きを置き濃艶に致します、この頃の西洋間ならば、トリトマス、カーネーション、額などを主に、姫川日葵、鴈皮を客に致しましたなら宜しいでせう、盛花は材料費も

△流儀花と 變りなく、郊外の方々には一層都合よく、八ッ手、熊笹、朝顔は申すまでもなく例へ名もなき草でも三四寸ならば用ひられます、斯樣に裏の繁りから救はれてこそ、すべての生花の趣意が現はれる事と存じます

渚の砂

■舟子三名溺死 山口縣都濃郡須金村農松藏の妾岩崎いち(二四)は長一(七つ)君□(二つ)の子供があり一家は貧困なるもいちは三年前から腹病に罹り色々と手當をしても効果の無いのを悲觀し十七日夜二兒を連れて家出したが翌日附近の錦川に縛り合はされた親子三人の屍體が浮かび出てゐた

■教習所の風呂 東京市芝巡査教習所の風呂は内巾が一丈二尺縦が七尺五寸四石を入れると深さ四尺五寸に達する、冬の頃は一日に三百斤の石炭を朝の七時から夕方の五時迄焚き通してやつと沸くのださうな

■大根と命 三河南設樂郡東鄕村□□田とめ(七五)は此の間宅附近の山畑で大根を引つこ抜いた途端に腰持ちなついて後に顚倒し高さ八尺餘の崖下に墜落して絶命した

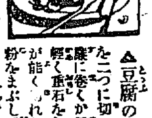
■厄介な父親 福岡市外□□□□鶴三郎(三八)は大酒飲みと家産を無くして妻に逃げられ十一才を頭に三人の子供があるので十五日同郡二日市町木賃宿小谷しかに泊り込み幼兒三兒を宿に棄て置いて姿を晦ます

■兵士三名溺死 三河豊橋步兵第六十聯隊では四個中隊水練演習の爲め先發として二十日八名郡下河村の豐川上流に赴いた兵士の内長野縣生れの新兵□野久三郎(二二)が先づ溺れたのを助けに飛び込んだ岐阜縣生れの上等兵□勝利藏(二三)と長野縣生れの上等兵柳澤政豐(二三)の兩人も溺死を遂げた

■雪解の最中 九十度以上の暑氣續きの今日此の頃日本アルプスに登山した信州松本聯隊の網見少尉の談に乘鞍ヶ嶽は今雪解けの最中で非常に柔く一歩踏み外せば奈落の底に墜落する虞れがあるから登山者は一時見合はすべしとの事

◎電柱に衝突 京城旭町二丁目居住郵便配達夫野間政彦(二七)は二十一日午前八時頃黄金町四丁目にて光熙門發義州通り行きの電車に飛乘らんとし電柱に衝突して前額部を強打して裂傷を負ひ昏倒したるより直ちに總督府醫院に連れ行き電氣會社より治療費を支給して手當を加へたるが生命に異狀なしと

◎商品陳列館看守採用 年齡十八歳以上二十三歳以下にして高等女學校卒業者にて身體強健京城市内に確實なる身元保證人ある者を採用す志望者は履歴書携帶總督府會計課用度係に出頭すべしと



△豆腐のフライ 豆腐を二つに切つて四角となし簾に巻くか又は布巾に包み輕く重石をして水を切り水分が能く切れたならばうどん粉をまぶし玉子の黄身を引いた上からパン粉をまぶし普通のフライと同樣にして揚げソースをかけ温いうちに食べますソースの嫌ひな方は生姜醤油、おろし醤油又は生醤油に花鰹を添へたものを用ひても結構です豆腐の水を切る時は狙のやふなものゝ上にのせ少し斜めにして水はけをよくして置けば早く水が切れます揚げる時は豆腐がふくれるのを庇合とすればよろしうございますこの料理は特に老人が好みます

演藝案内

壽座 京城壽町 電話七五八番
東京新劇座女優山村都紀子一行 當る七月二十一日より七日間毎日午後五時開演 大阪朝日新聞連載小說 △母と子 全通し 入場料 特等一圓 一等七十錢 二等五十錢 三等卅錢

有樂館 早川演藝部直營 東京小林商會朝鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番
當る七月廿二日より公開 米國ユニヴァーサル會社十七分計の内 パワーフィルム社製造 ◎滑稽『凸坊海濱の卷』 同十七分計の内 スターフィルム社製造 ▽滑稽『愛兒』 同十七分計の内 パイソンフィルム社製造 ○滑稽活劇『ノッポの手柄』 同十七分計の内 エルコーフィルム社製造 ◎滑稽正劇『アリス嬢』 主任南□公利說明 東京小林商會が苦心の撮映 ▼舊劇『聖人坂銀杏の由來』 ○新派連鎖劇『雨夜の鐘』 小林商會秘藏之逸品

黄金館 電話三六三七 六五二 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
七月廿日より中元御禮特別大興行 ○新派大悲劇『涙の海』(全十八卷) 村田正雄熊谷トン合同一派 ○舊劇 女忠臣藏女義士傳(全三卷) △米國ユニヴァサル會社作 ○泰西お伽『野花姫』(全三卷)

浪花館 明治町 電話二六〇
新講談の權威伊藤痴遊君獨演會 旭堂南昇 連日午後七時開演 △演題 △秀吉の出世譚 △安政の疑獄と △銅山王古河市兵衞 △詩人山陽と譜伯岸駒 △志士橋本左内(長講三席) 痴遊師講演 入場料 一等金九十錢 二等金七十錢 三等金四十錢

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
七月廿日より納涼特別興行 △チャプリン大會と餘興大奇術

京城學校組合告示第七號

大正六年度京城學校組合歲入出更正及追加豫算組合會ノ議決ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ
大正六年七月二十五日 朝鮮總督府京城府尹 金谷充

大正六年度京城學校組合歲入出更正豫算
歲出 經常部
第七款 學校衞生費 更正金貳千四百九拾參圓
第一項 雜給 更正金貳千七拾六圓
第十二款 豫備費 更正金四千八百七拾五圓
計 金貳拾壹萬貳千九百五拾參圓
歲出合計 金貳拾七萬四千貳百七拾八
大正六年度京城學校組合歲入出追加豫算
歲入 經常部
第四款 雜收入 追加金百圓
第二項 雜入 追加金百圓
計 金貳拾貳萬四千九百七圓
臨時部
第三款 國庫補助 追加金六百圓
第一項 國庫補助金 追加金六百圓
第五款 財產賣却代 追加金五拾圓
計 金五萬貳百七拾壹圓
歲入合計 金貳拾七萬五千貳拾八圓
歲出 臨時部
第三款 小學校費 追加金六百圓
第五項 需用費 追加金六百圓
第八款 基本財產造成費 追加金五拾圓
第二項 敎育基本財產編入金 追加金五拾圓
計 金貳萬參千七百參拾圓
歲出合計 金貳拾七萬五千貳拾八圓
歲入出差引殘金ナシ

著しく胃を爽快にする 強胃消化錠 マーゲン 島田藥學博士鑑查 特約店 京城南大門通二 新井藥房 大阪上本町五 田畑保藥房

花柳病專門 外科 ◎梅毒 ◎痳病 ◎泌尿生殖器病 ◎睾丸病 ◎肛門病 ◎皮膚病 婦人病 ◎神經衰弱ヒステリー病 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

小兒良藥 主治 效能 疳氣 驚風 五疳 眩暈 氣絶 解熱 疱瘡 痲疹 樋屋奇應丸 大阪天滿橋 樋屋合資會社 (全國到る處の藥店にあり)

内地新聞販賣店募集 ◎東京もの ◎大阪もの ◎關西もの ◎九州もの ◎關東もの ◎臺灣もの 門司市楠町三丁目 振替福岡三六七番 共英社

京都産 右各種製造發賣 京都市御幸町御池南入 堀 至善堂 振替貯金大阪六四四番 電話上五五十九番
金銀箔 黄銅鈴、齒科用金箔 無地金屏風、押紙 箔鈴商

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎 京城本町壹丁目 株式會社百三十銀行京城支店 電話五八番 振替貯金京城一九四番 銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

堅牢無比の新形萬年筆新荷著 グラス萬年筆 朝鮮總代理店(目錄送呈) 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五〇二七七 振替京城二五六 特約店 京城本町二丁目 田商店

一週分を試よ!! キット効驗現る!! 健腦丸 腦病 良藥 KENNOGWAN 主效 ▲腦充血 ▲逆上 ▲頭痛 ▲腦膜炎 ▲耳鳴 ▲健忘 ▲神經痛 ▲眩暈 ▲不眠 ▲便秘 ▲腦卒中 腦神經衰弱症の人 大酒家、喫煙家、及び常に頭腦を過勞する人々よ、本劑を常用せば怖る可き中風卒中を未發に防ぎ使を快し記臆力を增進す 價 一週分七十錢 二週分一圓四十錢 四週分二圓五十錢 本舖 東京 大阪 丹平商會藥房

旅行用具一切 毛布新荷著(格安品) 二枚續き三圓五十錢四圓五十錢五圓五十錢以上 □鞄製造バスケット □柳製專賣品トランク □雨合羽防水布引マント 雨合羽地もあり □魔法瓶及中瓶取替 □蛇ノ目雨傘番傘小供學校行傘 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

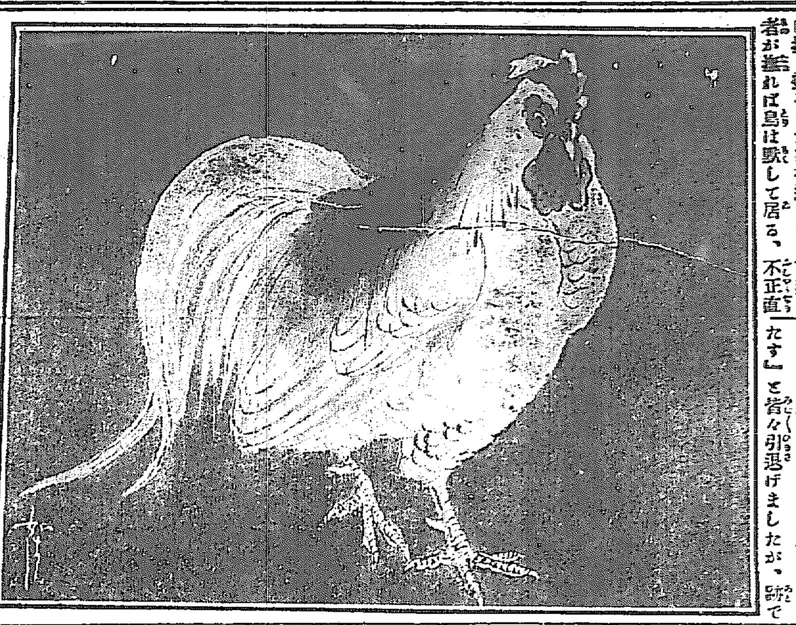
宮内省御用達 三ツ矢平野水 ミツヤサイダー コロナ 暑中中元御贈答好適品(壹打入化粧箱) 帝國鑛泉株式會社

内科 小兒科 村上病院 京城永樂町二丁目(品商陳列館前) 電話六二三番 院長 醫學士 村上□□ 副院長 熊本醫學士 松下三雄

明君道中記

第二百十七席 田邊南龍口演

徳之助は手を開けと云はれては何の氣無しに手を開いて見ると掌が眞黒になつて居りますから 長『オーそれで宜い塗でたに違ひない、コリヤなか其方開いて見せろ なか『ハイ』と云つて開いて見ると掌に墨が附いて居りません、長七郎是を見て大いに怒り 長『コリヤなか、其方は鳥の脊を塗でゐなかつたか なか『イヱ塗でました 長『謀りを申せ、塗でれば徳之助同様掌に墨が附く、其方の掌に墨の附ぬは塗し振をしたに相違ない、正直の者が塗れば鳥は黙して居る、不正直の者が塗ると時を作ると申した故其方は塗た態をして出て参つたに相違ない、然て見ると是迄身に犯したる悪事があるに相違ない眞直に白状いたせ、若し云はぬとあらば拷問に掛け身を苦しめて云はして見せやう、何うぢや恐入つたか』とハタと睨みなされた時、悪人と云へ素より女のことであるから此威光に恐れて慄出し なか『恐入りました不正な者が鳥の脊を撫れば忽ち時を作ると承はつて悪事露見を恐れて撫た態をいたしましたので 長『然らば天命を知つて身の悪事を申し述べろ なか『恐れながら申上げますが妾は先代庄右衛門の妻にして吉永東馬と不義を働き東馬の勧めによつて庄右衛門を毒殺いたし其の後東馬を入夫にいたしました、又東馬は元久留米の浪人にて諸國を廻つて悪事を働き、伊豫大洲在にて百姓治兵衛夫婦を殺し、其の場を立退き京都岡崎在の法山寺の住持大月和尚を頼つて暫く逗留をして居りましたが、それより只今申上げまする通り妾と夫婦になりましたので、此處に居る徳之助殿が養父の仇討をしたに相違ございませんから何卒妾を御所刑に附け徳之助殿を助けて上げて下さいまし』と涙を流して先非を後悔いたしました、長七郎是を聞いて 長『人の性は善なるもの能うこそ服罪いたした、追て沙汰いたす』と皆々引退げましたが、跡で箱の中から引出したのは鶏で脊に墨が塗つてありました、是を見て人々驚きました、長七郎は笑ひ出して 長『何と周防案イぢやらう、オランダより禁裏へ献上の白鳥を借受けて参つたと申したが實は予が家來に申付けて作らさせたのぢや 周『是は恐入りました、君の御調べによつて善悪が相判り孝子徳之助が助りましたは何より喜ばしいことで』とお禮を申し上げておなかは大罪であるから迚も死は免れません此は死罪仰付られ徳之助は敵を討つたといふので御褒めのお言葉があつて御褒美を下されました、此の事を大洲の加藤家で聞いて此の徳之助を二百石にて召出し小島徳之助と云つて加藤家に子孫ます、是を止めましたのは孝行の徳でございます、是を白鳥の政談と云つて松平長七郎殿の一世の御手柄でございました、暫永らく京都に足を止めて居りましたが是より大阪へ参らうといふので周防守に暇を告げ、其の身は宇平次宅兵衛三次おその等を伴れまして二條を立出ましたが、最も途中まで板倉家の家臣が見送りまして淀川から大阪の八軒家へ著きまする十三里の夜舟がございます、是を一名喰はんか舟と申しまして皆人は此の舟に乗込む、長七郎主従も此の一番舟へ乗込みましたが船中の賑さ出家侍諸商人、或は頓龍虚無僧等種々様々の者が乗込みまする、長七郎は舟の胴の間の處に著座いたし傍には其の宇平次宅兵衛三次等が従ひ居りまする、船中の乗合の者の自慢話もございますが是は略します、内に船は出たものと見ゑますが、夜分のことでありますから左右の景色も佳いであらうが一向に判りません、只水音のみザツ〳〵と聞ゑます



内科 小兒科 院長 醫學士 森定吉 京城本町三丁目 瓦斯會社向側 芙蓉醫院 電話二六三番

外科 花柳病科 ひふ病 京城旭町一丁目 三〇 牧醫院 更科本店裏

七月廿九日 日 舊六月九日 庚午 本命六白 乾 閉 友引

三碧 星一九

▲六白 拍子ぬけのする事有日新事 見合南方は吉 能劍乾▲七赤 爾徳の日轉居入學金件求職出 漁建築移轉入學皆吉▲八白 渇望を充す日轉居旅行入學金談名弘求 醫婦井 婚禮 吉▲九紫 ふさ與にかゝる事有日新事手掛事は吉 新取引は用心の事▲一白 勝利の日 轉居入學開業名弘 旅上求 金件訴訟 製造等 萬吉▲二黑 …

わきが にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は御用ひあれ 特効藥ファーザー 全治 六十錢 一圓 京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥局 電話二九四九

りん病 消渇で困る方 切手三錢送れ 多年の慢性も自宅で安全秘密に治す 良藥の自宅治療書を無代進呈す 名古屋市南かじや町 武藤亀吉

健通丸 よく通じる クセニナラヌ 大阪 參天堂藥房 發賣

婦人藥 ニシタンポン

專賣特許 ニシタンポン

特効(25) 子宮内膜炎 頸管加答兒 子宮炎 膣炎 喇叭管炎 卵巣炎 子宮痙攣 子宮出血 月經不順 月經痛 神經衰弱 ヒステリー 不妊症 不眠症 婦人病の豫防 月經時、姙娠中の膣内消毒

定價 四日分金五十錢 十日分金壹圓 送料 滿鮮 二十錢

本舗 東京市日本橋區南傳馬町 大正製藥株式會社 振替東京三二七三番

全國各有名なる藥店にて販賣す

「ニシタンポン」は最も進歩した坐藥(さしこみ藥)であります、之れを膣内に入れますと患部へ直接に届いて病氣を治し、こしけ其他のおりものなども殘らず吸收して、ドシ〳〵重い病氣でも、すぐ効めがあらはれますから、

子宮病に悩む御婦人達は今すぐ專賣特許婦人藥ニシタンポンをお用ひなさい!

朝々……肌の清々しさ

毎朝一二滴づゝ日課のやうにお塗け遊ばせば

涼しさうな色白化粧が出來ます

夏のヒヤケを防ぎ美人となる ホーカー液

定價 小瓶 二十錢 中瓶 四十錢 大瓶 八十錢 送料 内地 鮮料

朝露繁き夏のこの頃、海によく山によく素足に小砂を踏み、薬蔭に山氣を吸ふもこよなう爽やかにして。増して蝉時雨さんざ降る眞夏な、夕立の颯と過ぎて後に土の香り幽かに縁端を立昇る。夕方になれば蜩鳴きて、白き花パと開く。ホーカー液一二滴召したる心地にさも似て、床しとも床し

中元暑中の御進物

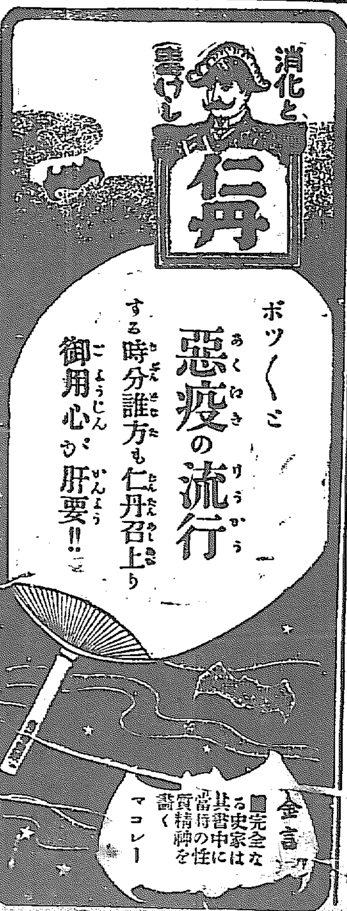
本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話神田 長特 一四三 一四四 振替東京 一五六

淋病新藥 ツヨール

下山藥學博士、慶松藥學博士、田中醫學博士證明、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士驗定 笹川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士實驗の結果理想的内服治淋剤と確定せる

●到處藥舗に販賣 發賣元東京 ツヨール商會 全國一手販賣 大阪道修町三丁目 田邊五兵衛

▲本品は殺菌力を有し且絶對に胃腸を害せず ▲膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、前立腺炎、消渇等其他一切急性慢性淋病に偉効を奏す 卅粒入五十錢 五十粒入九十錢 百粒入壹圓六十錢 ▲說明書無料贈呈す



消化と毒けし 仁丹

ボツ〳〵と悪疫の流行する時分誰方も仁丹召上り御用心が肝要!!

金言 完全なる史家は其著中に當時の性質精神を書く マコレー

是れ!是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!! (責任保險付) 堅牢無比

●大日本政府登録 米國製正十四金「イリジユーム」付ペン

"PINE"

●附言 パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ヶ年間交換又無料修繕

完全なる設備と老練なる技術者に依各種萬年筆即時修繕 京城旭町二の六 東京パイン萬年筆出張所

定價 … 六圓八十錢 五圓三十錢 四圓九十錢 三圓八十錢 三圓八十錢

發賣元 京城大平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番 陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

蛋白 澱粉 脂肪 消化剤 プロテアーゼ

本品は東京帝國農科大學 三宅理學博士の最近發見に係る一種のエンチームにして蛋白質に對し最も強度の消化力を有す……

從來本邦に於ける消化剤は主として澱粉質にのみ有効にして蛋白質に對しては未だ理想的のものなく實に本品を以て第一となす……加ふるに本品は

澱粉質に對しても其消化力諸種のヂヤスターゼに優り尚脂肪分解作用をも兼有す、之れ本品が他のあらゆる消化剤に比して超越せる所以=内務省東京衛生試驗所の報告も亦之を證明せる眞に世界的の大發見なり

粉末と錠剤の二種あり

胃腸障害の爲に常にヂヤスターゼ其他の消化剤を服用せられつゝある人は速に本剤を試み其偉効を知れ

定價	
粉末 二五 一〇五	六十錢 一圓四十錢
錠剤 百錠 廿錠	九十錢 三十錢

東京京橋南傳馬町三丁目 星製藥株式會社 電話京橋 一七八五 二〇五二

△各地藥店及特約店にあり▽

京城日報
七月廿五日
（夕刊と合せて八頁）
第三版

京城日報

歐洲戰爭と交戰諸國の陸軍（五）

軍需品と工業動員

戰線に於ける壯丁が多々益々補充を要すると軍器軍需品の無限なる消費とは、交戰諸國をして國民動員の非常手段を採るに至らしめたるは既に説きたる所の如し。而して諸國が此國民動員と同時に工業動員を實施するに至れるは國家危急の秋に方り當然の措置とせらる。現戰爭が其規模の廣大と兵員の多きと戰期の長きとは軍需品補給の容易ならざるを説明して餘りあり。加之兵器の進歩は其種類を複雜ならしめ、殊に消費彈藥の量莫大なるは軍事專門家と雖も全く豫想の外と爲す。此異常なる補給に應せんが爲めに諸國が平時の軍器軍需品製造工場を以て安んじ得ざるは言を俟たず。即ち國内の全工業力及び工業用資源に對し統一組織の下に一貫せる方針を樹立して戰爭遂行上の要求を滿すに力めつゝあるは次第なり。之が爲め英、佛の如きは各獨立の一省を新設し、獨逸に在りては陸軍省を平時に比し殆んど三倍大に擴張せり。英國は平時に於て六個師團に對する八箇月分の軍需品を標準として準備したり。然るに開戰後一箇年半に於て兵力は約十倍に增加し、彈藥の消費又平時打算を遙に超過せり。此異常なる軍需品の消費量に不足なからしめんが爲めに開戰の翌年五月兵器省を設置し兵器大臣を任命して其統轄の下に置きたり。英國工業動員の眼目は管理工場の設定にして民間の工場を徵發し直接國家の戰時業務たらしむるにあり。其數今や四千六百内外に達したりと傳へらる。佛國の戰時當時に於ける貯藏彈藥は甚だ手薄なりしを免れず。而も官立及び民間の彈藥製造力は一日二萬發に過ぎず、之を長き戰線に散布せる野砲に配當せば一日一門八發を越ゆる能はざりしといふ。佛軍は開戰と同時に敗戰の悲境に陷り國家國軍共に紛雜を極め、九月マルヌの會戰を終りたる時は平時貯藏彈藥の三分の二を消費したり。此危急存亡の秋に於て殆んど所有手段は講ぜられたり。遂に翌一九一五年五月陸[illegible]の下に砲兵彈藥次官の職を設け、更に其翌年兵器彈藥省を新設し、全國を四管區に分ちて工業の統轄を爲すに至れり。然れども佛國に於て最も困難を感じたるは鐵及び石炭の主要産地たる佛白國境一帶を獨軍の爲めに占領せられたる一事にして、鐵は米、石炭は英より供給を受くるの現況に在り。露は兵器彈藥の缺乏更に甚しきものあり。即ち開戰後數個月ならずして戰線に於て猶ほ小銃を有せざる兵卒砲彈なき大砲夥しき危險狀態に陷りたり。之れ全く露に取りては致命的大問題なり。即ち開戰の翌年五月より工業動員を企て九月に至り陸軍大臣の下に兵器彈藥次官を設置し、軍需品補給會議を起し、一定の計畫を以て統一完成を期し現在に於ては管理工場二百三十三に上ると云ふ。伊太利も亦早く工業動員を實施し、原料補給は英佛の援助あり現に兵器彈藥の缺乏を認めず。上述諸國に於ける兵器彈藥の消費需要狀態は一方米國をして國防上の不安を感ぜしめたると頗る大なるものあり。即ち全國に亙る各種工業調査委員會の開設に次いで議會は國防會議及び其顧問委員會の創設を可決するに至れり。其他鐵道造船等に關する民間工業家の熱狂的愛國心の發露あり。去れば將來に於ては一朝有事の際に於て一大武强國たるべきは疑の餘地なきが如し。最後に獨逸は如何。開戰の當初輸入杜絕を豫期し各種原料の自給策を樹立し其資源を陸軍省に統一せるは流石に獨逸なり。而して其工業動員は開戰後數日一實業家が陸軍大臣に提出せる經濟戰工業戰の計畫を採用し、直に全國の工業をして戰時の要求に應せしむべく統一組織したるに因すと云ふ。當局者が此方針を以て一度工業統一を策せんか獨逸の會社組織、勞働者組合、産業組合等が此目的の遂行上他國に比して甚だ容易なる點あるは言を俟たず。茲に詳細なる工業動員實行の經過を記述せんことは徒に繁雜に流るゝを以て省略すべきも現に獨逸が四面重圍の裡に在りて未だ曾て彈藥不足の形跡を認めず、其彈藥製造力日々卅三萬に達すと云ふが如き、以て平時の準備の緊切なるを學ぶに足る可き也。

誰（23）

布施生譯

讀んでしまつた阪は手早く之を寫取つて本文は漸と封じ終へたと思ふ時分、女中が大急ぎで飛んできて唯目で合圖をした。阪は心得て唯に押入へ身を隱す、と殆んど同時に這入つてきたのは美那子である。外出着に身を包んで着飾つては居るが顏は此二三日の間に恐ろしく瘦れてゐる。主婦は急いで出迎へながら

『まあ奧樣、何處かへお外出？』

『ね、一寸、誰方か私の處へお客樣がありましたからお待たせ申しておいて下さいな。』『でも貴孃何だかお顏色がお惡いやうですのに。』美那子は少し考へる風であつたが軈て握つてゐた手紙を擴げて見せながら『實はね、只今こんな手紙が來たのよ。』

『へゝ、まあ呆れた、私が知らない間に誰が貴孃のお部屋へ通りましたらう。』『どうして其樣に吃驚なさるの。』彼樣は困つて何だかあやふやな事を云つてごまかしながら、手早く手紙を受取つて隱れてゐる阪の耳に聞えるやうに大きな聲で讀上げた。

小生は綾部君の親友にて是非〳〵貴孃にお目に懸り度候が、仔細ありて貴孃をお尋ね申上ぐる事も出來申さず、拙宅へお出を願ふ事も出來申さず、就ては今夕正九時十二階對側の電車待合所まで、お出下されまじく候や。其處にて御面會の上用件お話し申上度、同所ならば人通りの事にもあり御懸念有之まじきかと存候。草々。

『へゝ、妙な手紙ですのね、まさか往らつしやるお心算ぢやございませんでしやう。』『どうして。』『でも何だか變でございますもの、乾度之は何か惡計に相違ございませんよ、危いから往くのはお廢し遊ばせな。』『何の危い事があるものですか、私、最早世間が厭になつちやつたの、どんな事があつたつて恐いとは思ひませんわ。』そう言つて主婦が引留めやうとする間もなくすつと出て往つて仕舞つた。其姿が消ゆるか消ゆないに阪は隱家から躍出して憤怒の形相凄じく『畜生、己等の知らない間に怪しい奴があの女の部屋へ出這入りして居やあがる、畜生奴、うまく出拔きやがつたな、そして又此奴。』と主婦を指しながら『馬鹿な奴だ、あの女が出て往くのを留めやうと骨折つて居やあがる、馬鹿、出て往かせて跡をつけるのが正ぢやないか。』『まあ恐いこと、だつて。』『たつても糞もあるもんか、それ、袢纏、股引、三尺』阪は例のに化けるんだ。』苛々しながら躁く暇に姿を浮浪者に變へてしまつた。『貴下手錠は。』『うむ持つてゐる。おい、其手紙は早速投函んだぜ。そして又こんな拙策をしないやうに氣をつけるんだ。』吩咐けながら街へ駈出した。そして苦もなく美那子に追附くと見附からないやうに跡をつけて、待合所に這入ると四五間此方の暗い片陰に腰を卸して油斷なく見張つてゐたが、『妙な處で會合をやつたものだなあ、あんなにそわ〳〵と落着かない所をみると、こりや奴さん對手に心當りがないんだな。』

日報詞壇

○初夏幽居　圓山　牧雲

黑石巉頭眼界遥。薫風吹處白帆飄。夕陽吟客忘機坐。三四閒鷗趁落潮。

評曰　不費剪裁、自然神到。

○自嘲　大久保晩香

癡骸夢鷗翠。江湖幾斷路。風浪磨壯心。豈有掉尾力。心眼不易明。業鏡奈難拭。舌頭雖説神。胸底動生戀。漢句與洋章。究竟何所得。肢箭萬卷書。一笑付蠹蝕。奇骨空稜稜。俠魂漫惻惻。救人不自扶。憂世忘我食。咄咄猖狂無所裁。多情多智鈍究德。汝不知八間。千慮與萬言。不如天地一玄默。

評曰　感慨頓挫、自成有韻之文

遺珠（一）　―日報俳句會吟―

蟬

蟬時雨荷車に入寢ねてあり　案山子
醫の車夫に水汲みや蟬時雨　同
蟬鳴くや撒水車の水乏し　矢名
望樓に涼しき蟬のありか哉　青丘
船の渠歩けば森の蟬涼し　同
蟬鳴くや入るに任せて園は溫泉　同
時化雲や漁師ためき蟬暮るゝ　京麺家
逆木削りを削りごとに蟬暑し　浩一郎
鷄に影つくる樹々や蟬時雨　同
鼓張り皮干す門や蟬の聲　柳矢子
含み藥利く間を蟬の窓に晃る　桂花
下り坂も宿近うなり蟬の聲　枕流
啞蟬のいつ迄去らぬ木肌哉　田打夫

泳　―五の日十の日會吟―

競泳番組が出來たみんな裸　浮碧樓
○泳ぎ疲れの砂原の撫子　華紅
○泳ぐは下手でも橋に乘つて見たい　句平
○脫衣守るわれ一人觀る泳哉　虎耳
○門井あり泳子等來ては叱られ　鳥堂
○蟲拂の夕親子泳ぎけり　目池

[illegible]京[illegible]三[illegible]〇三錢の入電大阪天候晴天を報じたるも接客入電未著にて當地當出來不申中十九圓九十錢先二十圓二十六錢と二錢高に寄付も戻りは又賣物多くヂリ〳〵一錢と下追が押目は又買物多く三錢と返し依然保合

[illegible]と各地の變動なきに戻り[illegible]今少し賣[illegible]り合なる事依然保合に終つたが[illegible]今後の動如何あるべき
▲今　同店の賣四千餘石買四五百石
▲今　同店の買二千餘石
▲仝　[illegible]店の賣二千餘石買二三百石

▲月末取引[illegible]
[illegible]も兵庫東京も變動なく[illegible]す併し戻りは今の振り直し來るん振り合にて伸び惱みたるが左りとて押目は買物多く結局保合に終つたが月末に際して一變あるならんと[illegible]

[illegible]清小麥八圓等にて出來たり
▲後場中限[illegible]十九圓九十錢一錢平均值九十錢出來高五十石▲先限[illegible]二十圓二十六錢五錢四錢三錢二錢[illegible]二十二錢[illegible]二十二錢一錢二錢

平均值　一節　二十一圓二十四錢
二節　二十一圓二十二錢
三節　二十圓二十二錢
四節
賣買取組高

私雄（二〇）は二十四日夜福市八戸郡末吉健太郎（一八）と口論し其の結果健太郎は秋雄の心臓を突き刺して即死せ[illegible]

飛行家チャムピオン氏
飛行家チャムピオン氏は二十五日大阪練兵場より市中を二回訪問し空中[illegible]

定價　本紙一部金三錢五厘　一ヶ月金五十五錢　前金[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直意
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話[illegible]

サッポロビール專賣のビヤホールは京城に之れだけあります

★サッポロビヤホール
本町二丁目　カフエーヱビス　電話四一三番

★サッポロビヤホール
本町五丁目　大生園　電話六九七番

★サッポロビヤホール
龍山漢江通り　龍山軒　電話五一〇番

★サッポロビヤホール
旭町三丁目　大正バー　電話二〇九六番

★サッポロビヤホール
旭町一丁目　旭バー　電話一六三七番

★サッポロビヤホール
櫻井町大正館前　五木庵出店　電話二三〇六番

★サッポロビヤホール
本町五丁目　京城花壇　電話二三二八番

サッポロビール釀造元
大日本麥酒株式會社京城出張所
南大門通り三丁目（電話二四六番）

○獨逸自由の敵は主權者

白國獨立記念祭に於ける英首相の演說

七月二十一日クインスホールにて行はれたる白耳義獨立記念祭席上に於て英國首相ロイド、ジョウジ氏は演說して曰く『白耳義の救濟は確實に進行しつゝあり獨逸宰相が其演說に於て名譽ある平和を希望せるは之れ狡猾なる假面を被れるものなり尙獨逸宰相は潜航艇戰の結果聯合國側は戰爭永續に耐へざる可しと稱したれども事實は七月中の三週間と四月に於ける同期間とを比較して船舶の損害今や曩日の半數に達せざるのみならず吾人は本年度に於て昨年度に建造したる船艦數の四倍を進水せしめ得べく本年度後半六箇月中に昨年一箇年に建造したるとを進水せしめ得べし、吾人は事を始むるに遲緩なる國民なれど一旦著手すれば之れを打破することも亦た寧ろ困難なる國民なり吾人は獨逸首相に對しては氣の毒に堪へざれど實際を告白すれば現在の程度を基準として今明年度の食糧を貯藏しあるを以て彼等が吾人を餓死せしめんことは思ひも寄らざることなり、獨逸の自由の敵は聯合國に非ず獨逸の主權者其の人なり吾人は自由の獨逸とは講和を締結し得べきも專制主義の統治の下にある獨逸とは講和を締結するを得ず』云々(倫敦電報)

○露國戰線軍紀紊亂

露國西南部戰線の軍紀紊亂甚しく新首相ケレンスキー氏は之が振肅を圖る爲め戰線へ向け急行せり(桑港電報)

○獨逸飛行隊の奸計

獨逸飛行機は露國戰線に對し機上より『露國假政府員全部捕縛さる』との印刷物を散布せり(桑港電報)

○本年米實增收豫想

本年の米作は昨年に比し更に豐作の見込にて昨年の收穫高は五千八百萬石なりしも本年は六千萬石の收穫を見るに至る可しとの豫想なり(東京電報)

○改正法律公布

廿五日官報を以て左の法律公布されたり(東京特電)

一、阿片法中改正法律
一、製鐵業奬勵法
一、朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律
一、造船奬勵金下附停止に關する法律

○戰役行賞發表

大正四年戰役に關する市町村長公吏千八百十名に對する行賞二十五日發表されたり(東京特電)

○步兵學校修業式

千葉陸軍步兵學校にては二十五日修業式を擧行したるが步兵中尉小山武夫同小松崎力雄の兩氏は恩賜の銀時計を賜はりたり(東京特電)

新露國より(一)

露都 彼列鳥六生

彼列鳥六生とは小生の友人で目下露都に在る者の假の名であるが、彼は昨年の秋より露都に滯在して、細さに露都の世態人情を觀察しつゝあるが、相か際西亞好きの所へ持つて來て恰度革命騷ぎにも出つ會したし、此頃はスツカリ露西亞通になつた積りで居る、又社會觀察にかけては目の鋭い男であるから拔け目なく關中飛躍も試みて居るらしい、玆に掲ぐるは六月二十六日に彼れが認めて小生に送り越した感想である—中島生

一、落人の身の上ならねど、風の音にも心を措く今日の有樣である。無沙汰の罪は宥して呉れ給へ。俗世界の大變動に驚嘆して、暫らく茫然された爲めか、自然の神は季節の變轉を一月ばかりも怠けられた樣に見ゆる。ネヴアの白い氷が流れ切つたのは、五月も早や央であつた。クロンスタット行の渡船場に青い小波の寄せるのを見ながら、晴天に靠々たる白雪を仰いで、造化の奇巧を笑つたものである。從て白樺や楊柳の新綠萠ね出でしも漸やく昨日今日に過ぎない。

二、兎角物事は極端に行くものである。最近世界の二大蠻カラは一躍大ハイカラに成つた。ハイカラが善いのか蠻カラが惡いのか、ベレウツク生には解らぬが、似合ふのか、似合はぬのか、映るのか映らぬのかは丁字屋の番頭さんに質せば解る事である。流石に此處では詮子を切る必要はなかつた。しかし苟くもグラジユダニーン(シチズン)である。今迄とは譯が違ふ。新聞も見なければならぬ。委員會にも顏出しせねばならぬ。橋梁も學校も敎會も、大なる仕事の一部分に加はつて來た。恐らく祭日を今一層吟味して減少し。停車場の構內に聚つて得意のダンスを行る暇を割愛せねば行り切れまい。實に忙がしい事である。

三、中華民國を造つた者は兵隊であつた。此處(露國)では二億の民衆に自由の光を導いた者は兵隊と勞働者である。然らば宜しく橫行闊步すべしである。兵隊は英國並に俸給を引上ぐべし、勞働者は勞働時間の制限と增給問題を提げて此好機會に於て一擧に解決すべしとは、住人の小さな頭腦から出た判斷であつた。大露國の勞働者は斯の如き問題に齷齪するものでない。委員を選んで靈開の諸公と膝を交へ國政の方針を質し、滿足なる答辯を得、滿足なる組織を發見するまでは、革命以來御手の物たる武裝の示威運動を試むるを辭せなかつた。濠洲聯邦の勞働者が多年の習練あるとても、此處迄は漕ぎ付けまい。豪い識と扇子を擧げる代りに、ハンカチを振りてウラーを叫びたくなる。これから見れば、兵卒が電車で士官に乘り合せ、鼻突き合せて敬禮せぬのも、此危急存亡の秋に十日でも二十日でも同盟罷工を續けて經營者を泣かすのを、世間で彼此陰口叩くのは、抑も末の末なるものであつた。

觀銘亭雜俎(三)

蘇峰生

○戰爭以前の英國民に、殆んど歡樂追求に、憂身を窶せり。獨逸が彼を見縊りて、近世のカルセージと做せしは、寧ろ適當の見解たりし也。聞より英人中にも、危機の切迫を自覺し、國民に向て大聲疾呼したる志士、皆無にあらざりし也。されど國民の多數は、之を相手とせざりし也。

○如何に英國が、其の不準備の爲めに、多大の罰金を拂ひし乎。如何に英國が、其の放心蕩意の爲めに、過酷の賠償に任じたる乎。そは問ふ丈が野暮也。凡そ世界に英國程、高價なる經驗料を出したる者なし。されど如何に高價は、高價なるも、彼等はその經驗を放下せざりし也。別言すれば經驗を利用したりし也。是れ英人の及ぶ可らざる所以也。三年前十萬內外の陸兵に滿足したる英國が、今日六百萬の大兵を作爲し。即今日々七千萬圓の戰費を支出して、尙ほ戰鬪を持續しつゝあるもの、それ豈に徒然ならん哉。

○若し英人にして、今少しく自惚心多からざらしめば、其經驗料は、彼が如く高價ならずして、濟む可かりしならむ。されどそこが英人の本色也。彼等は他人の諷言、暗示位にて、容易に合點する程、悟敏ならざる也。されど彼等は、到底頑冥にして度す可らざる程の、鈍物にあらざる也。彼等は過當の代價を、經驗に拂へり。されど其の經驗を。代價以上に受用せり。此の如くして英國は、戰爭と與に、更始一新しつゝある也。

●米價騰貴と細民

朝鮮に於ける米價は內地市場の騰貴[illegible]へ偶々木皮草根をさへ食するものあり、今ま現下の鮮人經濟狀態を記述すれば左の如し

[illegible]行掛々しからず不景氣の結果更に價格の上騰を見ず底意は寧ろ安含なり

▲勞銀不昂騰 生活困難の結[illegible]食を得れば甘じて勞役に服せんとする者あり反面觀に於ては前同樣低落[illegible]良ならず結局喉の[illegible]鮮人本位の內地人商店は苦痛の[illegible]通機關の整備は出穀を旺盛ならしめ結果、現今には二三大地主の手[illegible]ろべきも亦た米價の變價に比較し値大ならざりし(米の變よりも販內[illegible]て禍を轉じ福と爲すものにあらざるか(某經濟通談)

●タツカー氏[illegible]

●奉天の木材界

目下奉天に輸入されつゝある木材は鴨綠江材を第一とし次に北滿材、吉林材の順序にして月により多少の相違あるも鴨綠江材は其の五割乃至七割北滿材二割吉林材一割位の輸入を見つゝあり品質は皆略ぼ同樣なるも製材法上鴨江材は丸材北滿材は角材となす習慣あり爲めに邦人向として供用上の便利より北滿材最も歡迎されつゝあるものゝ如し鴨江材は安東に流出さるゝもの約十萬噸に上れるが北滿材は其三分の一にも達せざるのみならず歐戰の結果貨車不足の爲め一層輸送困難となり從つて奉天輸入は頗る減少し一方鴨江材も歐戰に依る船舶運賃の昂騰に加へて今春來の旱魃にて流筏意の如くならざる爲め甚しき品拂底を來たし爲めに價格は漸次暴騰して客年に比し約五六割高を唱へつゝあり一般商人等は兩期に入りて江水增加し流筏便利となるに到らば少くとも二三割の低落を見るべしと豫想し居たるらしきも現下の狀態にては奉天は元より天津上海等よりも需用續々として現在輸送されつゝあるものは何れも契約濟のものゝみなる盛況なれば玆暫くは人爲的に多少の高低はあらんも大した變動は見ざるべし因に北滿材は品質不良と運賃關係とにより滿洲に輸入さるゝもの絕無なりと(奉天)

●石炭配給と大邱

鐵道併合後の施設

鐵道の滿鮮統一實施と共に大邱は滿鐵經營に係る撫順炭の南鮮大配給地たるべく決定し居れるが聞く所に依れば右撫順炭の置場は大邱驛裏手(北側)の桑畑を以て之に充て當分當備炭量を二萬噸とする由にて高さ十尺として面積七千坪の土地を要すべく之を以て大田以南慶北以北各驛に配給し將ては更に相當設備を擴張したる上貯炭量をも增加し一般に撫順炭の販賣を爲すに至るべしと(大邱)

●亥角警務官談片

朝鮮警務總監部亥角庶務課長は十九日長春に來著吉林を視察したる上更に引返し二十日哈爾賓に向へるが氏は往訪の記者に語つて曰く滿洲に鮮人を移住せしむるの必要なるは今回親しく視察するに及んで痛切に感じたり又同胞よりも活氣に富めるやに見ゆ、滿洲に在る同胞は實際に於て朝鮮の朝鮮及び滿洲に於ける警備機關の比較?這は輕々に論じ難きも一里四方の面積千人の人口に對し一名の警官を配置せる朝鮮に比すれば滿洲の方は幾分閑澤の樣に見受けらるゝ土地の事情を異にせる結果にして又已むを得ざる處ならん長春は僻境の寂しき小邑ならんと想像し居たるに其の意外に發達せるには驚けり將來吉會線開通するに於ては益々經濟的發展を遂ぐるに至るべく其の前途は實に洋々たる大河の如きものありと云ふべきなり在鮮人の狀態も見たるが何れも堅實なる基礎の上に立ち危險思想を抱けるが如き不心得の徒一名もなきは慶賀に堪へず(長春)

●全北貸出激增

全北管內に於ける各地金融組合、銀行、諸會社個人貸金業者の六月中に於ける貸出額は五百十六萬九千七百八十五圓に上りたるが右は主として米價暴騰、諸物價騰貴に對する商業資金主位を占め前年同期の三百九十八萬千〇八十二圓に比し百十八萬八千七百〇三圓の激增を示し居れり貸出別左の如し(全州)

定期及び年賦貸付	九五二、五五八圓
普通貸付	二、九九四、〇四一
當座貸越	二〇〇、〇九〇
割引手形	一、〇二三、九六[illegible]
計	五、一六九、七八五

□延平島の石首魚漁は黄海道の誇

産業の地であると共に亦趣味の地

深尾黄海第一部長談

深尾黄海道第一部長を本社城館に訪ふ『僕が此の三月四日に當地を立つて黄海道に赴任したので各種部業に就き一々實地見分を爲す程の域には達して居ないが』と前提して左の通り語る

黄海道は自分の豫想では何かしら斯う大通りを外れて這道へ這入つた樣な貧弱な所の樣に考へて居たが赴任して見ると案外良い所だ天産工產共に優勢で物資の

▲集散日に繁激 を加へてゐる。延平島の漁業の如きは朝鮮三大漁場の一に數へられ殊に石首魚は一漁期の産額二十萬圓內外に達してゐる勿論之は鮮魚の時の價格で道では更に之を開いて鹽漬にする等多少の加工製作を行らせる方針を取てゐるが年々漁期になると各地より集合する漁船舩々相摩し延平島は時ならぬ賑ひを演出する延平島の漁業は確かに

▲黄海道の誇り である、農産物では小麥の如きは約四十萬石の産額を見恐らく鮮內にも其の比を見ざる所粟米等の如き孰れも其の品質産額に於て優秀なるものと云つて宜からう夫れから黄海道に棉花の産出する事を忘れてはならぬ在來棉ではあるが試作の結果に徵すると非常な良績を示し其の産額品質共大いに誇るに足るべきものがある目下の産額は五十萬貫位であるが前途頗る有望である棉花は全南許りに取らせはしない。次に誇りとすべきは

▲本道の鑛業で ある即ち殷栗の鐵鑛は其の産額二十五、六萬噸、朝鮮第一に位し盛んに枝光製鐵所方面へ搬出されてゐる。金は年産額百二、三十萬圓にして遂安鑛山の如き平北、雲山金坑に亞ぐ屈指の金山である其他月一千噸の産出ある亞鉛鑛を始めとして銅石炭と黄海道の鑛産は頗る偉大である、由來黄海道は京畿、平南兩道を南北に控へ之等と密接不離の關係がある殊に

▲鎭南浦の如き 其の存在の理由の一半は黄海道に負はねばならぬと土地の人自身が高唱してゐる有樣で、同港の生命たる輸移出米九十萬石の如き黄海道産のものが大部分を占めてゐる。

話は變るが海州の背後には昔伯夷叔齊が逃れて蕨を食し潛い生活を送つたと言ふ首陽山と云ふのがある其の西側の象拒絕には朱子の書に成る碑石がある銘するに伯夷清風の四大文字を以つてす海州から出れば伯夷叔齊が船で逃れ渡る途中風浪高く危殆に瀕したので朱子の碑伯齊清風の風を切つて海に投じた差しもの風浪も俄かに靜つて船は覆沒を免れる事が出來た即ち碑に銘せる風の字が他の三字に比して可笑しいのは之が爲めだと謂はれてある何と面白い傳奇的物語ではないか又黄海道は

▲筆墨硯の産出 で有名だ恐らく鮮內唯一の産地であらう殊に墨は定評があつて道も年來補助金を支出し製墨改良獎勵に勉めてゐる其他まだ一般に周知せられては居ないが温泉も尠くない主に炭酸泉で大抵は浴槽の設備も出來てゐるがまだ交通不便の爲遺憾ながら都人士を吸收するに至つて居ない要するに黄海道は産業の地であると共に亦大いに

▲趣味の土地で ある伯齊のローマンスと云ひ筆墨硯の産出と云ひ而かも閑地幽邃の溪流々として盡きせぬ温泉の湧出するに至つては如何にも俗人離れのした趣味の地と言はざるを得ぬ

●木浦艀船賃引上

木浦に於ける艀船を取扱へる仲士組は過日來同業の値上に關し荷主と協定中なりしが會議所の斡旋に依り愈々二割方引上げに決定し是迄噸四十八錢を五十七錢六厘と爲すことゝなり九月一日より實施すべし(木浦)

●木浦棉業總會

木浦棉業會社は二十二日公會堂に於て總會を開催第四期營業報告並に利益分配案を附議したるが當期配當は年一割五分にして其利益金及分配案左の如し

金八萬四千二百八圓六十七錢也當期總益金▲金六萬九百七十四圓十八錢也當期總損金▲差引金二萬三千二百三十四圓四十九錢也當期純益金▲外金一萬五千二百二十二圓三十五錢也前期繰越金▲合計金三萬八千四百五十六圓八十四錢也▲內金二千二百圓也法定積立金▲金二千三百圓也役員賞與金▲金七千二百圓也株主配當金一株に付金二圓六十錢年一割二分▲千八百圓也同特別配當金一株に付金六十錢年三分▲金二萬四千七百五十六圓八十四錢也後期繰越金

●廣瀨經理部長歸期

會計經理檢査の爲め石川、川北兩主計を隨へ去月二十五日龍山を出發し南鮮各部隊を巡檢中の廣瀨經理部長は既に豫定の任務を了したれば兩三日中に歸任すべしと

●吉田副官歸任

管內警察事務視察の爲め出張中の吉田京畿道副官は二十四日夜歸任せり

●小松勸業主任出張

京畿道勸業主任小松事務官は田中技手を隨へ高陽郡內に於ける蠶業視察の爲め廿五日出張す

□電報不著

內地方面よりの電報は電線不良にて大部分本紙締切迄に到著せず夕刊に掲載すべし

人事 消息

▲吉植庄三氏(東拓平壤出張所長) 二十五日夜入京不知火旅館へ
▲多田榮吉氏(新義州木材會社長) 同上
▲野口多內氏(滿洲大興合資會社理事) 二十六日朝退京の筈

■南言北語■

斯う暑いのに毎日肩のこる樣な事許り書くのも不粹だ▲今日はウンと碎けて活動寫眞の御覧に入れやう▲彼のダヌンチオの作カビリアに似た處がある▲先月の十一日布哇での出來事だサア之から始まり▲布哇に當年取つて十四歲花の樣なカネアと云ふ美少女がある▲或夜の事火の女神ぺレが美少女カネアの枕頭に現はれて▲『布哇全島を破滅すべき大噴火の日が近付いた其際生き殘るものは男一名女一名のみで島の大部分は海底に沈沒する』と御託宣▲此の託宣が發表されて以來土人等はカネアを神と信じて尊敬する▲其信者たる卅六名の老若男女は自ら進んで人身御供を志願した▲先月十一日は布哇先帝カメハメハ王の誕生記念日に當る▲此の男女一同は其の前夜キラウエヤ大火山の絕頂に攀ぢ登つた▲一行中には子を抱へた婦人もあつたが先づ子を眞ツ先に噴火口に投じ▲續いて一同は噴火口內に飛び下りて仕舞つた▲然るに同火山は其際稀に見る程熔岩の沸き方が弱く▲殊に一同は何れも熊下の巖石上に投じた爲め嬰兒を除く外は何れも生命は無事であつた▲翌朝噴火口見物の自動車團體が此の珍事を認め▲早速警察に報告して一同を噴火口から引き上げた▲美少女カネアは精神異狀とあつて警察で取調を受けたビリ〳〵▲それは布哇の新聞にあつた

特許新案商標意匠
規則は常所發行平民法律に在 說共五錢年半圓痛快實益無比 斯界第一流多數學者技師分擔
本邦唯一 公共機關
平民法律所
東京京橋木挽町六丁目遞信省前 振替三六九四四 電新橋一七一一
所長辯護士辨理士山崎今朝彌
訴訟取立鑑定辯護

第拾貳期營業報告
貸借對照表
負債之部 資本金 諸借入金 積立金 配當未拂金 當期利益金 合計 [illegible]
資産之部 未拂込資本金 諸貸付金 任置貯金 振替及什器 家屋 假拂金 銀現 合計 [illegible]
大正六年七月
廣業株式會社 社長 尹致昭

三ケ年絕對保險
特許イーグル號
イーグル號最大特長部
一、衝突の際と雖もフレーム、リム、タイヤ等の破損のなき事
一、シートの構造に依り如何なる凸凹の道路と雖も身體に動搖せず
一、錠前ヘットマーク、フレーム其他數個所
御望の方にはイーグル號ハゴロモ號赤筋タイヤ發賣店
イーグル號販賣 便利相談す
中古問屋 名古屋市西區泥江橋角 野々部自轉車商會 電話六〇五二番

最新刊

書名	著者	定價
最近支那經濟	辛生永助	二、五〇
滿洲の吉林省	遼東新報	三、〇〇
支那大觀と細觀	永井柳太郎	一、三〇
化學工業講話	島田愛一	一、六〇
主要岩石肉眼的鑑定便覽	小原忠太	五〇
滿蒙山東物產誌	遼東新報	七五
全國株主要覽	ダイヤモンド社	一、四〇

進むべき道 南條文雄著 定價一圓卅錢

書名	著者	定價
小學教育の最近研究	帝國教育會	一、六〇
造形美術講話	佐久間政一	一、二〇
新美術史	齋藤隆三	二、〇〇
日本名勝案內	宇野高夫	七〇
傳說ロマンス	澁部香樓	六〇
快傑內藏助	安島未客	一、二〇
播隨院長兵衞	翠瑚	一、三〇
堀部安兵衞	稲本日南	一、〇〇
家庭救急法	森繁吉	五〇

京城本町一丁目 電話五〇六番 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

水銀ご(保存品有) 青酸加里 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五・二七七四 振替京城二五六

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平町 振替三〇〇番 京城日報社代理部

▲鑛業家福音▼ 特許 松藤式碎鑛機 新案 松藤式撰鑛機 鑛石耐火煉瓦原料其他硬物の粉碎本機は頗る簡易輕便にして操縱自由也粒の大小を適宜に粉碎し得且運搬動力三種價格低廉也 本機は比重法則に應用し足踏動力三尺立方 御希望の方は御申込次第說明書進呈 大阪市北區鳴尾町停留所前 鑛山用器械販賣 大陽商會

質 大口歡迎 京城黄金町長橋町入口 電話二九一六番 商品擔保便利取扱 田村質店

釜山商店案內

鯖罐詰(一名さばかつを) 新製品續々入荷致候間御用命被仰付度候 段は特に御相談可仕候 釜山 あづまや商店

卸問屋 洋菓子洋酒食料品 商報發行 東京三河屋 英米直輸入 滿鮮代理店 釜山幸町 ミトヤ商店 MITOYA.CO

內外雜貨 鍋釜金物 サクラビール 石油 卸商 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

內外雜貨卸問屋 長岡商店 釜山弁天町 電話一三八一番

內外雜貨 卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八〇二番 振替京城一三七番

內外雜貨卸問屋 [illegible]屋本店

……鮮に於て其の利益を壟斷し以外細民は此れが爲め生活の困難を來し僅に最近取入れの大小麥により露命を支……

▲物價不昇騰 米價を標準として物價の昂騰を來したるは麥、豆等の穀類のみにて鮮人生産の雜貨類は米價騰貴も細民生活困難の爲め賣……果は日雇稼ぎたらんと欲するもの多く而かも雇傭者側には需用の限度あれば需給の平均を失し米價の昂騰にも關らず勞銀は騰貴せず往々一日の……

▲內地雜貨 ……市は內地にかける原料騰貴の爲め著しく騰貴したれば肝心の中産以下多數鮮人の購買力減少したれば賣行佳……

▲米食減少 ……程までにあらざるも里餘を距てし地方に至りてはスリチビに米飯なく全く麥食を客に供給するの狀態にて交……

▲米食防遏 ……もの多きは穴勝に贅澤なる結果なりとも見る可らず諸種の原因存し補食物の充分ならざるなぞ唯一の理由た……に補食物の栽培を奬勵して正米缺乏を機會に今年出來秋以降は米食を防遏し移出をたらしむれば細民は却つ……

……救世軍少將タッカー氏は二十五日釜山著來朝せり（大阪特電）

◉藁三十貫 毎日平げるのは
お馴染の象君いつも達者でニコニコ 人氣物の猩々は木の芽で食養生

避暑の半日の休み日を何處で暮らさうかと思ふ人も尠くはあるまい。先づ安上りで、半日は愚か一日居ても興の盡きない所は、李王職の博物館であらう。博物館には動植物園も附設してゐる。博物館には朝鮮の古寶古書畫其他古美術品、古軍器、古建築物、其他歷史上の參考となるべき古器物、或は珍らしき禽獸魚貝の標本を陳列し動植物園には朝鮮產の動植物數種を飼育栽植してゐる。而かも博物館と動植物園とで其種類が何千といふ多數に達してゐるから、逆も仔細に觀て行つたら一日や二日で看盡せるものではない。殊に家族的の夏の行樂には持て來いで、第一子供に見せるとしても、凡てが實物敎育になつて、下手な讀小說抔より餘程危ふな氣がない。殊に中には安價で而かも比較的上品な飲食店があるから、至つてなよりに一日の家族的行樂を擅にする事が出來る。而かも此の觀覽料が大人三錢、子供が三錢（五歲以上十歲未滿）、四歲以下無料である。尤も特別館を見るのには別に五錢を徵收してゐるが、是等は女子供には解るまいと思ふから、普通の五錢口で結構だらうと思ふ出で來より

大分違のいてゐたから久し振りで動物園の案内をして見よう。動物園の人氣ものは猩々（牡）であらう此獸は山で果物や若い木の芽や草の根を常食としてゐるものであるから、食物に骨が折れる。殊にコヽにゐるのは野生のを生捕つて來たのであるから普通の常食たる食麵麭（一日半斤位ゐ）牛乳（同二三合）の外甘蔗（同五十匁內外）の外、時々乾しだ棗を五顆乃至十顆位與へてゐる。所が何うかすると時に

◆消化機に故障を生じて胃腸を害する結果下痢抔を起すことがあるので、其の時には食物を加減し人間と同じ樣な胃腸病の藥を與へてゐる。獅子は目下牝の親と牡（二頭）牝（一頭）の兒が都合四頭ゐる尤も牡の親は昨年希望に據つて拂下げて了つたが今度は兒の牡が二頭ゐるから來年あたりから掛合はせることになつて、追々繁殖することにならう。

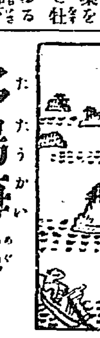
◆此の獸は交尾期中大概數回で受胎する例であるが、受胎すれば牝はモウ受付けないと云ふ程行儀の好いものである。食物は親が牛肉一日一貫目、兒が六百匁乃至八百匁、牛乳一日三合と時々兎の生餌を遣る。兒獅子は去年生れた許りの時は普通の猫ほどの大きさであるが段々生長して今日の樣に大きくなつた、隨て牛肉の量も追々殖して行くのである。病氣は糞便を檢して寄生蟲の湧いた場合抔獸醫が投藥することになつてゐるが

◆近頃は至極健全である。虎（牡）の一頭は朝鮮の名物として物足りない樣な氣もするか、其の名物も餘り有名になり過ぎては、一向有難くも無からう、殊に昔から或る加藤清正の虎狩の話なぞは殆んど賣物に寫生と云つても好い位だからまア一ぴきで結構だらう。それから豹が二頭（牝牡）二頭ゐるが、何つちも四歲の同じ歲である。今歲四歲と云へば人間の五黃の寅で、豹が寅の歲とは妙な氣もするが、人間の相性から云つても男の五黃と女の五黃とは餘り宜しくない。併し仲人が相星の人だつたら

◆如何に相尅の星こ雖も差支へないとしてあるが、多分仲人でも惡かつたのではあるまい歟何う云ふ宿世の惡因緣か、嫁に貰つた牝の豹を、牡の亭王の豹が嫌つてゐる。一體鳥獸でも高等の部類に屬するものは、何う云ふものか、牡は牝を又た牝は牡の撰り嫌ひをする。例へば鶴の如きでもさうである。それから人間を誑すと傳へらるゝ狸の如きもさうであるのは面白い事ではない歟、そこで虎や豹の食物は一日牛肉七百目と牛乳三合であるが、牛餌として

◆時々生きた鷄を放り込んでやる。此の外象（牡）が一頭ゐる。是れは草食獸だから毎日三十貫許りの藁や枯草や馬鈴薯、小麥の皮抔を與へてゐる。河馬三頭（牝二牡一）も同樣の食餌を常がつてゐるが、河馬には豆乳を毎日三合づゝ位飲ませてゐる、其他色々の動物が何百種となくゐるが此の前に紹介した事が度々あるから略して置く。

多島海巡り



一島去れば一島＝白帆赤帆に清風孕みて＝名にし負ふ右水營＝南へ南へ

五道踏破旅行記者 李光洙

◆赤壁上りにて未だ眠も醒めぬ處を、多島海の名に惚れて、二十三日正午木浦埠頭より、朝鮮郵船順天丸の客と相成候。木浦の諸有志は船內まで見送下され、病後の身體を注意專一に與、親切なる別辭を賜り候。殊に木浦滯留中、本社全南支局長麻生君の親切なる御世話になりしこと尠しく、何とも御禮の申上樣無之候。何卒家族の者の如くと云ふが、小生の述べ得べき唯一の謝辭にて候。

◆手を振り、帽子を振り、頭を振りて、別を惜まるゝ木浦の人士を後にして、我が順天丸は徐々と高い島の屛風の如き絕壁の蔭を踏み碎き、天下の絕景多島海指して走り出で候一抹の雲、儒達山の嶮峻許りなる頂上を包むよと見る間に、粒太き一しきりの夕立ばらばらと水面を打ちしも、其れも間もなく止みて、初夏の空は紺碧に晴れ渡り候。

◆多島海の雋幅は今や展開し始め候。一島去れ一島來り、又去れば又來る。島の如き船は、其の間を縫ふ如く、迷ふ如く、悠々と、或は醉ひて舞ふ如く、悠々と鏡の如き水面を辷れば、島影に隱れ居たりし如き清風颯と吹き來りて遊子の袂を拂ふ。思はず快哉を叫ばざるを得ず候。

◆一波も動かずとは、之を謂ふなるべし。げにも滑らかなる海原なるかな。否海とは云はせじ、湖か、さもなければ清江の一曲、黃龍の眠る碧潭とも申すべきにや。遠く白雲の浮べる方より、一羽の鷗、音もなく飛び來りて、輕く氷を蹴れば、綠の如き小波、無數の同心圓を畫きて、而して跡方もなく消ね去る。其さへ判然と見らるゝ程、滑らかなる海にて候。

◆時々船は、眠れる如き小島の絕壁の間を、舷側も摺れん許りに、通り拔くれば、千萬の島で島とを洗ふ、複雜なる無數の潮流の、白泡を立てゝ渦卷く當りを泳ぎ行く。白帆赤帆に淸風を孕みて、行交ふ漁船のんど意味の、解られぬ合言葉にて、呼び合ふも面白や。

◆島の形も、千差萬別。小さきあり大いなるあり、圓きあり、三角形なるあり、或は四角、五角、六角と、複雜なる角をなせるあり、將又高きあり低きあり。形狀より申しても、位置より申しても、我儘勝手に取り度き儘に、取りたりと申すの外なかるべく、造化翁は、天地創造の最終の日の意外なる閑暇を多島海の工夫經營に費やしたりと相見え候。風波をしみにて、年々歲々、島の形を磨かしむるの得べき形のあるべしとも思はれず候

◆嶮巖のみにてなれるあり、白沙のみにてなれるあり。雨方をちやんぼんになせるあり。時僃には、草木の茂げり得べき沃土にてなれるあり。其の尤も奇なるものに至りては、頑固なる大盤石の上に、二三掬の白沙を、撒き散らしたりと見ゆる者あり其の上に、旋毛曲りの矮松の、ぴよんと立てるは、實に皮肉なる者に候

机の上に載せたき小島の多きは勿論にて候へ共、時々馬鹿に出來ぬ大島のなきにしもあらず。頂に白雲を頂く程の山さへ、ちよい〱見らるゝに至りては、意外の感に打たれ候。

◆航行約二時間にして、半ば崩れたる荒凉なる古城の、波に洗はるゝが名にし負ふ右水營にて、名將李舜臣が、刻苦經營したる海防の遺跡にて候。彼の小高き城壘に斜めに倚りて哀れなる胡笳を吹きつゝ見張りをなし、武士の炬の如き瞳が、今に見ゆる心地致候。されど今や矢叫びも血煙りも立たずして、當時の敵味方は仲よく水營城內に居住せるに、思ひ至れば、轉た感慨なき能はず候。

◆船は黃金を溶かせる如き、落日の光を左舷に受けて、南へ南へと走り居り候。珍島の連山は、遠く〱眺むるのみにて、相接するの縁遠きを嘆きつゝ、船室に入る、此の邊より多少海の本性を見はせるにや、船に弱き小生は枕に嚙り付かざるを得ず候（七月二十三日順天丸にて）

蓮の花

◉銅製鑄印發見

慶北慶州郡府內面校里農李且坤が目下慶州邑外古蹟遊覽道路として府內面校里瞻星臺傍二等道路より岐れ同郡同面皇南里に至る道路改築中鷄林の西側小川に架したる石橋を改築するに當り同川中の土砂を除去中此の程其中より銅製鑄印一箇を發見せり形一寸三分四角形にして四方の緣稍々腐蝕し居るも印體比較的完全にして製作の模樣より察すれば新羅朝時代の遺物と認められ或は上流より押流されて來れるものとも思はれ小石橋附近には新羅時代檜橋を名けたる一小石橋のありしとの傳說あり又其上流域には味雛王陵及び無名塚散在しなほ有名なる瞻石宮の跡なりと言傳ふ所もあり現品は永久に保存すべき價値あるものとして目下發見者は慶州警察署に保管中なりと

◉水雷網に掛る

牧の島漁夫大西六助は二十三日加德島沖に出漁中打瀨網にて長さ二間半周圍四尺五寸直徑一尺五寸の魚形水雷を引上げたるより漁船に積みて持歸り其旨同島駐在所に屆出でたるが該魚形水雷は日本海軍が演習の爲め發射せしものゝ如くなるも既に長日月を經過し腐蝕し居れりと（釜山）

◉釜山の出火

全燒三戶損害一萬圓

二十五日午後六時釜山幸町一丁目十八番地長屋二階より發火同十六番地の棟續きに延燒し中三戶全燒三戶半燒七時鎭火したるが火元及び原因に就ては目下取調中因に損害は一萬圓なりと（釜山特電）

◉婦人の著衣を剝ぐ

慶南金海郡長有面三文里農金基伯の妻金福順（三五）が六月二十二日午後七時半頃所用ありて同郡綠山面水晶里に差蒐りたる際突然二名の鮮人現はれ金福順の行手を遮ぎて有無を言はせず引ッ捕へ毆打したる後絹製上衣を剝ぎ取り裸體として身體檢査を行ひ所持金及び携へ居たる麥朝鮮靴まで强奪して姿を晦ましたるより被害者は直に金海憲兵分遣所に訴へ出で嚴重搜查の結果右は同面與首里魚商浦南方雇人朴且鳳（二一）及び同所居住芦席製造人金在仁兩名の所爲と判明し去る十七日二人とも逮捕され引續き取調中

◉日射病

京城明治町二丁目高井龜太郞方雇人鴨崎文吉（二〇）は二十三日午後二時頃大和町三丁目十八番地先きを通行中突然卒倒したる騷ぎに警官驅付け附近の古城醫院にて應急手當を加へしが强烈なる日射の爲め昏倒したるものにて雇主が引取り目下加療中

◉禁酒國の暗黑面

禁酒令の裏面＝支那酒の密輸入＝支那領の市……

露國は戰時となつて禁酒令を布き今に取締は嚴格である、けれども裏面の消息に至りては幾多の珍聞と除外例を有してゐる、畢竟是れも無警察と云ふ

◆秩序紊亂の結果より生じたる一現象なりと見るの外はない、現にニコリスクに於ては鮮人の密釀所があつて例の朝鮮酒を極秘裡に供給してゐる、而かも其顧客は露兵が

◆浦鹽斯德に於ける遊里で大部分であつて參々伍々其家を叩き一呼吸に香唄ふるのである、亦浦鹽斯德には日本人間の流語となつてをる、浦正と云ふがある浦正とは浦鹽正宗の意味を表したもので、これは日本人の密釀に係るものだと稱されてをる

酒が發禁とあれば忽ち浦正は其席に運ばれるが素敵に高いと云ふ事だ、浦正と謂へば此密釀によつて小成金が續出し、今では商賣替をして貿易商となり濟ました大きな顏をしてをる連中もある、此の外酒精乃至支那酒の密輸入により酒慾の一部を充たさしめ禁酒國の半面には其れ相當の芳醇天地を有してをるのである、支那國境二三里を隔つる地方農村の露國人などは

◆支那領の市場を訪ひ、しだゝか支那酒を呷ふり酣然醉歩ヨダ〱となつて各々農村に還へるといふ習例は每日反復されて居る、そこで露支國境に臨んでゐる東寧縣三岔口の如きは露國の戰時となつて以來此種露人の酒客を迎へ殊に日曜日は露國人の往來盛なるによつて從つて他の需用品に及び土地の繁榮は此現象によりて維持されて居るのである要するに露國の禁酒は絕對的ならずとするも種々の消息には斯の如き缺陷を有して居ると某歸客は語つた（間島）

◉京城圖書館々友組織

京城圖書館は山口精氏の八年に亙る苦心經營により今日迄維持し來れるが今回京城府協議員學校組合議員商業會議所議員其の他有志者は再三協議の結果山口、大久保、原、原田、石原、大和、池田、森、中村、田中、小杉、上野、服部、大垣、釘本、曾我、大橋、深水、阿部、小幡、牧山、釋尾、高木、肥塚其の他數十名の後援により豫て其筋の許可を得たる館友組織に依りて廣く資金を募集し書籍の購入、閲覽室、書庫等の建築を爲す由

◉慈善音樂會演奏

廿五日午後八時より有樂館に於て開催の京城佛敎慈濟會の京城行路病者收容所寄附に係る慈善音樂會に出演の東京音樂學校卒業生大場勇之助氏は六七年前迄龍山聯隊に勤務し陸軍歩兵東京音樂學校に入學昨年の卒業生でヴァイオリン科を優等にて卒業目下同校研究科に在學中にて氏の演奏曲なる『セーン、エ、バレー（ベリオ作）』は幻想曲にして（舞臺面と踊りと）云ふ譯なるが我京城音樂家にして此曲を奏し得る者は少數なりと

◉野村判事夫人の訃

京城地方法院豫審判事野村調太郞氏夫人きだ子（三二）は病氣の處廿五日午後一時大和町二丁目四十九番地の自宅にて終に永眠せり葬儀は廿六日午後五時自宅出棺永樂町本願寺別院に於て執行する可しと

りん病七日藥

日本專賣有權 麻除は左記諸症を治す ◉慢性麻病 ◉急性麻病 ◉女子消渇 ◉膀胱加答兒 ◉睾丸炎 ◉尿道狹窄 麻除は實驗上の發明藥化學的急治法也 時々再發し數年困る人申込あれ詳報す 大阪市南區堺筋周防町南入 發明製造 山口藥院

質 京城黃金町二丁目入（永樂町停留所北） 堀佐營業所 電話六三九番

京日案內

普通一回前金五十錢 番外一回前金一圓（匿名一圓五十錢增し） ▲申込後中止の節は前金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信料御添付あらざれば御答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

◉牛乳配達夫二名入用 年齡二十歲以上三十歲以下希望者來談あれ 京城西大門外冷洞東洋牧場 電話六六番 333

◉給仕一名採用 市內に確實なる保證人を要す（電話一八三一番） 大平通二丁目 勸業貯蓄會社支部 328

◉生後四ケ月男子の乳を預け度し希望の者は通知又は來談 京城黃金町三丁目三〇三 平力藏

◉電話讓物あり 南山町巴城館隣 吾郷電話二一〇三番へ 331

▲尺八明笛大正琴生田山田琴の譜本取揃へ 電話二五二七 ウツボヤ書店 振二二二三 212

▲金融 月收の方に確秘信用迅速融通御相談 京城花園町八七 上又は御來談 大和質店 302

◉看護婦至急募集 本人來談乞ふ 南山町一ノ一六 電話一四四一番 派出多忙有免狀者 中央看護婦會 304

▲見習看護婦入用 南大門通り農銀裏 電話三〇六五 司生堂醫院 308

番外 旅館並に御下宿 弊館は三階建に付極めて閑靜にして涼し御客樣に對し親切丁寧に取扱申候 西大門町二 電話二六二五 優翠旅館 336

貸家 黃金町五丁目幽邃なる庭園あり廣潤閑靜空地畑地あり間數八倉庫二浴場一家賃四十圓 電話〇六七一 酒造株式會社 三巴會社 333

下宿屋讓 目抜の場所客に付滿員の盛況 希望の方は正午より四時迄に來談あれ 旭町一丁目通二十四番地 瀧川自轉車店すぐ裏 加藤 337

鑛物各種分析 太平町二丁目三二六（電話一八二三） 遠藤質油店向側入る 松永分析所 335

店員入用 十五歲より廿歲迄 市內に確實なる保證人を要す 京城本町四丁目 米穀商質屋業 佐野屋（電話一四九一番） 326

貸家 宅地五百坪以上に付自宅を貸す 階下五室外に湯殿瓦斯電燈電話の設備あり庭園の眺自慢なり 本町通五丁目三十九番地 電話一〇二二番 淺岡 329

年金 恩給 月利一步二厘 短期三年半迄無保險 商品陳列館表門前下角 長期 即時立替全額 ▲京城永樂町一 江州屋本店 166

ゴム風船 ゴム寶月 ルイド玩具 ルデサック 紙細工セロ 謹指 定價表無料送 京城太平通 製造卸商 太陽ゴム商會 250

京城春川 乘合 間自働車 賃金片道四圓 ◉京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通り 電話二一三八番 ◉京春自働車商會 松田壽男 263

恩給年金立替 利五年迄 即時取引退職料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正館向）元祖 博多屋本店 283

暑中御見舞 帝國公債信託株式會社朝鮮支部 京城府長谷川町五十八番地 電話二五三四番 振替京城二〇一七番

暑中御見舞申上候 東京神田區南神保町 塚谷洋品店 京城本町 京城出張店 電話一三六番 營業品目 帽子、洋傘、メリヤス肌著、靴下類、毛布、膝掛、鞄旅行用具、香水香油化粧品、カラー、ワイシャツ、ネクタイ洋服附屬品

いよ〱二十六日二十七日兩夜限り日延なし 伊藤痴遊氏講談 浪花館 ◉三浦將軍と三叢首 ◉小村前外相と魚武 ◉星亭の最後 ◉木戶孝允と女 ◉西鄕南洲の流罪 ◉犬養木堂と支那革命

皮膚病 花柳病 專門（注射 手術） 扇田醫院 京城太平通二丁目（電話二二五八番） 岡山醫學士 扇田豊

選り拔きの大家出揃ひ 慈善大音樂會 七月廿五日より七月廿七日まで 三日間午後八時より ◉目的 在朝鮮佛敎八宗援助の許に慈善音樂會を開催し各位の御同情に訴へ而して其收入は擧げて京城佛敎慈濟會（京城行路病者收容所）に寄附 ◉出演者 京城に於ける各大家名手を網羅し並に東京音樂學校卒業生ヴァイオリンの名手大場勇之助氏は夏季休暇中親戚なる當地某高官の邸に旅行滯在中なるを特に懇願致し出演を乞ひ氏得意の妙技を振はゞ眠れる京城音樂界を覺醒さるゝならん ◉演奏種目 琵琶、琴、尺八、淨瑠璃、洋樂 ◉入場料 白券五十錢 靑券三十錢 入場券は會場及び市內書店、樂器店にて發賣す 電話二〇五 五九七番 有樂館

中央婦人病院 京城明治町二丁目（元漢城病院下横通） 電話一一三四〇番 院長 大笠茂

花筐(六七)

松田竹の島人作

お豊が、逗子の京子の假寓に歸ると、東京で親父の要で、上野山下まで往くと、廣小路で市野の抱へ車夫留吉に偶然出逢つたから、市野のことを聞いたら、市野は相變らず、一週間に二三回宛鮀と鎌倉の別莊へ往くのだが、それはお琴といふ美しいのがゐるからだと言つたと、全然嘘で堅めたことを言つて、京子が此上にも夫誠信を疎んずるやうに爲向けた。

京子の心は燃ゆ立つ程に爲つて、

『まあ何んといふ旦那樣でせう。何且あんな醜業婦揚句のものに逆上せてゐらッしやるのかねえ。』

『留吉から噺を聞いて、未だ旦那樣は御夢が覺めないかと、呆れて了ひました。そればかりぢやございませんよ。留吉の申しますところでは、遠からずお琴を奥樣として、根岸の御家へ御呼びになるといふことでございました。』

『我ら逆上せてゐらッしやる旦那樣でも、正可其麼ことは爲さらないだらうよ。』

京子は、夫誠信の不身持に呆れてはゐたが、正可お琴を正妻に爲る程の性なしとは思つてゐなかつた。

『妾だつて然う思ひましたから、噓だらうッて留吉に申しますと、何に噓なもんか、乳母さんが言つたから間違ひのないことだ、噓だと思ふなら、其時の來るのを見てゐるが可いッて申すんでございますよ。』

『乳母やが其麼ことを言ふやうぢや眞實か知ら。』

『平素からチャラポコを言はない留吉でございますから、妾は眞實のことだと思ひます。』

『然うだねえ。』と京子は應へて打沈んだ。

京子は何時も、お豊に言はれて一端は信じないが、もしやそれが眞實だらうかと思ふ心の隙に乘じて、お豊が何度も歸に任せて言ひ立てるから、脆くも然ういふ氣に爲るのであつた。京子の心は鐵や岩のやうに堅くなくッて、動くから付け込まれるのであつた。

『ねえ豊や。』と京子は言葉を改めて

『妾一度、鎌倉の別莊へ往つて、お琴が其麼擧動でゐるか、見たいと思ふが什麼だらうねえ。』

『そりや御止遊ばした方が宜しうございますわ。』

『何故さ。』

『だつて奥樣、お琴を御覽遊ばしたら、御肝に御障り遊ばして、御頭が一層御惡るく爲ると不可ませんですから。』

『場合に由つては、彼の女に逢ひ、恥しめて遣らうと思ふからさ。』

『市野樣の奥樣でゐらッしやる貴女樣が、其麼端ないことを遊ばして、什麼なさいます。』

『でも妾は、最う市野誠信の妻でない意だわ。』

京子の此言葉には、お豊は京子が愈々夫誠信に愛想を盡して、離婚する心ではなからうか。果して然うした心なら、田淵の望みも叶へられるだらうと思つた。

『市野樣の奥樣でゐらッしやらないと致しますと、これから先、什麼遊ばすのでございますか?。』

『今は事實に市野の妻ではないしするし、將來獨立して往く意だわ。』

『そりや結構な御考慮でございます。それは然うとして、鎌倉へ往らッしやることは御止遊ばした方が宜しうございます。』

『お前が然ういふなら止に爲るわ。』

京子は鎌倉往きを止めるとは言つたもの丶、其心の底では、お琴の擧動を見たくッてならなかつた。

日報俳壇

夏の月

つと舟の灯が流れゆ夏の月　小嵐山
何燈ぞ土手の小家や夏の月　同
夜毎門を笛吹き往く夏の月　同
鰻釣る人の聲にや夏の月　同
海水浴場に終列車著きぬ夏の月　かよ子
樂器ならず灯され部屋や夏の月　同
遠足の兒が騷ぐ驛の夏の月　同
水道栓を漏る水音や夏の月　六轉
渡舟を出で立つ岸や夏の月　同
湖の黒さ搖らぐ帆影や夏の月　隈山
風渡の声の戰ぎや夏の月　同
夕べ霞の晞き過ぐ空や夏の月　龍泉
船の者ほゝ行く夏の月の街　海雲臺
歩哨夏の月浴び靴鳴らし居り　芳宙

回夏の句を募る　雜吟。一人十句以內。用紙半紙型。締切無し還句次第發表。宛名本社編輯局『日報俳壇係』

□活巴會發會吟

大正六年六月十一日活巴吟社の發會、心水、桂花、牛殿、幽谷、友春の五氏大和町三丁目岡部桂花居に於て何年振りかの小集を催し活巴と名付く(友春記)

○短夜、茂

短夜や參禪未だ居士ならず　友春
過會の友惜しむ夜や明易き　同
短夜や旅馴れずして寢三昧　同
流筏の江岸茂り茂るかな　同
哀愁の身に懷かしき茂り哉　同
新聞の帶封も解かで明易き　幽谷
短夜や船搖れも氣伸び　同
茂る麓畑細く朝晴れの里　同
越後馬吳唱明け易き溫突の宿　牛殿
歸り馬に荷はなくて鈴の明易き　同
調べ事に興乘つて蚊帳明易き　同
宮茂る綺行燈に蛾の三四　同
並木茂る古驛に耶蘇の鐘ゆる　同
ポプラ茂る面事務所の白き屋根　同
茂る山茂る村舟筏に鷄の聲　同
畑に草取る先生の山茂る　同
茂り木立途切れ／＼の丘　桂花
御陵茂る白砂の道や一筋に　同
垣茂る衣摺れのする　同
鯛に焚く島の篝火明け易き　心水
短夜を蓄音機ねたるくせ兒　同
裏畑の惣坊主より明け急ぐ　同
茶縞の湯女が襟脚明易き　同

□根無し會第二回例會豫告

一、俳諧正調　兼題　團扇(又は扇)
右一人三首宛八月五日迄に左記宛送附の事但雅號の外成可住所姓名附記ありたし
二、用紙は端書、一枚に一題三首宛清記の事
三、會員外と雖も何人にても寄稿隨意の事
但選句は幹事に一任を乞ふ
四、例會當日出席の方は會員とし、今回に限り特に會費金二十錢持參を乞ふ
五、例會開催日取並に會場は追て披露す例會出席希望者は兼題寄稿の節草稿の終りに其旨附記ありたし
六、照會は一切往復端書にて左記宛の事
京城本町四丁目第一銀行社宅中村方　關小路太郎宛
七、席上互選句、主選句(あらば)は本紙上にて披露す

新刊紹介

▲實驗千種手輕でうまい經濟料理(下卷)　夏向料理の卷にして安價、美味、手輕を主として編纂せるものなり部門を分ちて和へ物と酢の物の部、甘煮と口取物の部、お汁の部、お惣菜の部、漬物の部、お酢の部、お惣菜向の西洋料理、夏の飲料とゼリーのいろ／＼、手輕に出來る家庭菓子、日用の辨當菜及家事所重寶記の十一と爲し各部門數十種最も平易簡明に記せり本年六月發行以來既に四版を重ぬ(五十錢東京牛込赤城元町三四東京家政研究會)
▲定石くづし(第一卷)　六段岩佐銈氏の講述にして囲碁の正道たる定石に對し敵が定石外れの石を打ちたる場合に應ずる撞道の心得を解きたるものにして實戰上此の術を知る事は極めて有利趣味ある事と謂ふべし收むる所百四圖解說依平明也(八十錢東京牛込下宮比町六裴華館社)
▲尺八音譜西洋曲集(小版曲集)　都山流の音譜にしてシューベルトの子守歌シューマンの夢の悲哀グーノーの夜の調べ等十五曲を收む(四十錢大阪心齋橋北詰阪根聚弘居)
▲帝國農會報(七月號)　鎔西帝國農會の主地問題(矢須博士)日本農業の二大缺點(那須農學士)獨逸の信用組合、絵田農學士等見るべし(十二錢東京赤坂溜池一帝國農會)
▲娛樂世界(八月號)　如雲、交昌、眠玉、南龍等名家の長講讀物の小說石像の秘密及淨世談話花柳情話、奇談、茶話等(二十五錢東京日本橋スキヤ橋九共社)
▲探偵雜誌(八月號)　女性犯人の特質及眞理日野たとい證言の價値、藝妓の犯罪、不思議の家、怖ろしき東京小說怪火等(二十錢東京麴町有樂町一の四實業之世界社)
▲靑年文壇(八月號)　時代の要求と民衆藝術本間久雄、旅を想ふ心(土岐哀果)及人道主義の勃興、おきらめ、小說第一夜等(十五錢東京本郷駒込千駄木町一の一東亞堂雜誌部)
▲文書(七月號)　事務の簡捷と文書の整理、執務とその適任者、文書の整理及保存法、會議問題の研究、活動寫眞の取締其他(十錢東京々橋區南傳馬町一の一共會)
▲文明の日本(七月號)　健全哲學を鼓吹せん事を目的とせるものにして疾病の本體と其治療法、藥用習慣の打破其他を收む(十五錢富山縣入善町在和屋文明大學院出版部)
▲少年(八月號)　軍國美談の勇士の鮮血、戰時小說の大英斷、冒險小說の巨鼈と格闘及朝鮮ポスト物語等(其他面白し)(十六錢東京々橋區南傳馬町二の二時事新報社)
▲電氣旬報(一〇七)　五錢大阪北區若松町二六共社
▲ザ、ウワー、ピクトリカル(六月號)　價不詳ザ、イルストレーテッド、ロンドン、ニユース、エンド、スケッチ社
▲文藝通信月報(一〇七)　非賣品神戶下祇園町三八御目文藝通信社
▲大公論(七月號)　十錢愛知縣中島郡一宮町細田三七共社
▲國民評論(七月號)　十五錢東京麴町有樂町一の三共社
▲第一通信(七月號)　二十錢東京赤阪溜町五八共社

◎タイヤー界の革命　京城長谷川町満鮮商會に於て満鮮一手發賣の特約になる東京前川商會の『日本スポンヂタイヤー』は從來の空氣入タイヤーと異り空氣を入るゝ必要なく何如なる峻坂惡道を突破するも破裂の恐なく普通品の約三倍以上の耐久力ある由にて頗る高評を博しつゝあり

◎大正a式稻麥拔　東京本所長崎町日本發明奨勵會の發賣に係り作業力他式の二倍ありて地方農務の好評を博し居れる由なるが說明定價表は申込次第進呈すと

▲家屋建築の際は

四の五のと隨分八ケ間敷が自分の屋敷區域外へ溫突の煙り出しを築いて居る處が數百軒ある差支へなきや(土地所有者)▲一時議論になつて居た小學校の月謝問題は更に議論の餘地が多いではないか吾々は月末に甚だ是非實行して貰ひたい(大工の親)▲蠅は暗き所には入らぬ故に便所は暗くせば蠅も入らず又糞尿も醱酵せぬから臭氣もせずとの御話を聞き實行して居りますが頗る良好です然し衞生人夫が汲取りに來る都度汲口の戶を明放して歸ります何卒嚴重に御取締を願ひます(衞生家)

女子の本分

▲料理の出來ぬは女一生の損
▲禮法を知らぬは女一生の耻

▲一擧兩得の妙案　女子の本分は、婦道を守り、家事に專らなるにあり。茶の湯、生花、音樂等の知きは、趣味を向上せしむるに必要ならんも、更に肝要なるは、家庭料理を研究し、禮儀作法を習得するにあり。女子にして此の心得なくば、如何に趣味の向上を努むるも、遂に實務的婦人となる能はずして、女子の本分を盡し難かる可し。家庭料理の研究は日々三度の食事を、經濟に、美味に、また滋養あらしむるを得べく、禮儀作法の習得は、日常の座作進退に度あらしめて、思はぬ恥をかゝぬ要意たる可く、女子たるもの、必ず習得せねばならぬ事どもなり。

されば婦人界近來の傾向として、女子は何人も料理の研究と、禮儀作法の習得に心を用ひつゝあるが如きも、何れも最良の講習法無きに惱むが如し。

▲板垣伯夫人は　此點に留意し夙に東京割烹講習會を設立し、同所より講義錄を發行し、家庭の婦人に、坐ながらにして、料理と、禮儀作法とを、容易に講習し得るの便宜を與へ、實務的婦人の養成に心を盡しつゝあれば、今左に同會發行の家庭料理講義錄の內容を紹介すべし。

▲年中行事と料理
▲正月と追儺 ▲雛の節句 ▲端午の節句 ▲七夕祭 ▲盂蘭盆 ▲十五夜 ▲重陽の節句 ▲七五三 ▲大祓と除夜 等の年中行事に趣味ある講述をなし、以て、尚附するに其の料理を以てし、其の料理法を講述しあり。
▲還暦、喜の字、米の祝 ▲婚禮式 ▲出產祝 ▲誕生祝 等の、人一代の行事も、悉く詳細に說明し、其の料理法を講述しあり。

▲日本料理科
▲各種會席料理 ▲三汁八菜 ▲二汁七菜 ▲一汁五菜 ▲一汁三菜 等の日本固有の料理を始めとし ▲家庭向總菜料理 ▲即席料理 ▲晩酌料理 ▲季節飯の炊方 ▲老人、小兒、病人の食物等、實益と趣味を兼ぬる記事頗る多し。

▲西洋料理科
▲歐洲各國料理 ▲米國の料理 ▲正餐の献立 ▲略餐の献立 ▲日常料理 ▲一品料理 ▲パンの製法 及び珈琲紅茶の入れ方まで西洋料理に關する事項は、詳細に說明しあり。日本料理、禮儀作法の欄と相俟つて、本講義錄の中心記事と思はる。

▲支那料理科　支那料理は、最も進歩せる料理なり。本講義錄は其の點に留意せるものと見ゆ、每號十數種の料理法を講述せり。

▲和洋菓子科　實用に家庭の娛樂を兼ねたる高尙なる和洋兩種の菓子製造法を講述す。

▲漬物　漬物は日々の食事の必要品にして、鹽加減等の頗る困難なるは親ら手を下したるものゝ等しく味ずる所なり。本講義錄がこの點に心を用ひたるは嬉し。

▲禮儀作法　禮法の講義錄に此の欄あるは、同會目的のある所を察し得べく、編輯の苦心も亦此處にあるべし。此の欄には
▲日常進退の座作 ▲男女着衣心得 ▲和洋食卓法 ▲嫁入り、媒妁人の心得等まで、凡そ心得ねばならぬ禮儀作法に、悉く圖入にて說明しあれば、何人も容易に會得するを得べし。

▲本講義錄の特色　本講義錄の特色は、其の記事が悉く實習の結果たる事なり。同會には附屬の女子割烹學校あり、大家を聘して、研究會あり、何れも斯道の專門家なり。記事としたるが本講義錄なり。されば本講義錄が他の講義錄と全く撰を異にせるは勿論、文章平易、總振假名を以てしたれば、何人にも容易に領解さるべし。而して其の講義が常に季節を追ひ、一も季節外れのもの無きも、亦この講義錄の長所と云ふべし。

▲會員募集　目下同會は會員の大募集中にして、此の際の入會者には、種々の特典あれば、入會の最好機會なるべし。會費は一ヶ月三十五錢、三ヶ月一圓、六ヶ月一圓九十五錢、一ヶ年三圓六十錢なり。

▲入會の手續　極めて簡單にてハガキに講義錄送れと書いて申込めば、直ちに會員として送本し、會費は後に其の地の郵便局より集金に行く故、何の手數も無し

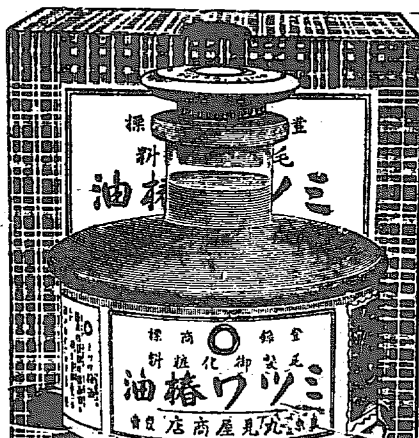
▲五大特典有り　入會金免除 ▲料理必携進呈 六ヶ月前納者には家庭寶典、一ヶ年前納者には記念メダル及び婦女通鑑を進呈す

▲內容見本　希望者には、請求次第無料進呈すと云へば、遠慮なく

東京本郷元町一ノ三
東京割烹講習會

へ申し込まるべし。尚ほ同會は振替口座東京一九四一〇番。電話下谷五六九二番なり。

馥郁たる芳香を有する純良化粧用水石鹼
ミツワ水石鹼
技師 工學士 藤野太治郎
(現品縮寫圖)
肌膚の荒れぬ化粧用水石鹼
ミツワ石鹼が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、衞生美容の資料となるが如く、ミツワ水石鹼も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり。從來の普通水石鹼には刺戟甚しく皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、この新發賣の
定價 金參拾五錢 大壜 金五拾錢
ミツワ水石鹼
は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て製造せられ洗滌に際して適量を振出すを得他人の使用せる後にも些の不快を感せず殊に此ミツワ水石鹼は皮脂の分泌夥多にして而かも皮膚粗糙なる本邦人の化粧用石鹼として皮膚毛髮の洗滌に適する理想的逸品也。

ミツワ椿油
椿の實を特に內地に取寄せて皮膜を去り冷壓法を以て搾取したる新鮮純良にして毛髮の衞生に適し、色艷を麗しくする


小壜入 定價 金貳拾錢　大壜入 壹合入 金五拾五錢
中壜入五勺入 金參拾錢　徳用 五合入 金貳圓五拾錢
ミツワ椿油は新鮮なる椿の實を以て製造したるものにして、從來の製造法を改良し、冷壓法を用ひ强力なる水壓機にて、些少の熱をも加へずに、搾取せる純良なる椿油なり。他の普通の所謂椿油と異り毫も苦味を含まず、透明無臭にして、理想的の毛髮衞生料なり常に此ミツワ椿油を用ゆれば、毛髮の發育を助け雲脂の過剩を防ぎ、色艷を艷美ならしめて漆黑たらしめ、赤毛白毛に成り易き憂ひを除き、臭氣を發することなく、裂毛折毛等の恐を去り、漆黑を尊ぶ本邦人の毛髮に最も適する相想的完全なる毛髮油なり。

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元
東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、蔽薬品、石鹼香粧品小間物問屋
丸見屋商店
電話特長浪花四四八、四四九、四五〇 電信略號〇ミヤ 振替東京七一〇番

尼崎汽船部仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 七月廿八日後四時出帆
○大有丸 七月廿四日後四時出帆
○秀吉丸 七月　日後四時出帆
▲神代丸 七月廿八日後四時出帆
▲印大阪直行
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二、二二二三番
鐵道院及社外船と荷客運送の便あり 京城南大門 京城荷客取扱店 松原運送店 電話長一一七〇番

○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道沿岸寄港せず
京城丸 八月十四日
×忠清丸 八月五日
×咸鏡丸 八月九日
柳川丸 七月廿九日　釜山發
○元山より各地經由雄基行
鏡城丸 七月廿九日
會寧丸 八月二日
三浦丸 七月廿六日　元山發
○浦潮行(元山より城津清津經由)
平安丸 八月二日　元山發
○元山長崎間
鏡城丸 八月一日
咸鏡丸 七月廿八日
咸興丸 七月三十日　元山發
○釜山元山間
金海丸 七月廿六日 八月一日　釜山發 元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由
登德丸 七月廿七日　釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸 每日　釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 七月卅一日　釜山發
○麗水行(各地經由)
海州丸 巨濟丸 統營丸 每日　釜山發
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸 南陽丸 三日目每に木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
公州丸 慶興丸 七月廿八日 七月廿七日　木浦發
○多島海各島行
慶興丸 八月二日　木浦發
○木浦行(群山其他各地經由)
晉州丸 麗水丸 七月廿八日 八月二日　仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 七月廿七日　仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸 錦江丸 每日　仁川發 但し三十一日は休航

大阪商船仁川出帆

○外航各所屬航路(連絡航路を除く)間連絡乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
◎神戶、大阪行
天智丸 八月三日
南都丸 七月廿七日
臺東丸 八月四日　後二時出帆
◎南浦、群山、橫濱行
濟州丸 七月　日後二時出帆
×木浦、釜山、嚴原、若松、門司、長崎行
安東丸 七月卅一日
×安東丸 八月十八日　後二時出帆
○群山、橫濱行
潮州丸 八月　三日
福州丸 七月　日　後二時出帆
△南浦行
南都丸 七月三十日
臺東丸 八月一日　後二時出帆
△鎭南浦、大連行
×安東丸 七月廿六日
×安東丸 八月十三日　後二時出帆
◎南浦、神戶、大阪行
臺東丸 七月　日後二時出帆
◎西湖津新浦城津淸津行(元山出帆)
須磨丸 七月廿四日後十二時出帆
◎清津行(元山出帆)
宮島丸 七月廿八日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 七月廿三日前五時出帆
基隆丸 八月八日後四時出帆
御注意 ◎安東縣滿及び南滿洲鐵道各驛と船車の連絡切符發賣仕候◎御乘船客は本船出帆前約一時間前無賃迎可致候◎×印に一等客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二三番、二二〇番、五五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 開豊旅館 電話二六一番

商況

下關期米特電 二十五日前場 [illegible]

大阪期米特電 廿五日後場 なし

仁川期米

前會 ▲更に動かず 兵庫東京の變らざる入報にて二十錢二十六錢と寄付たるが今より賣物現はれたると各店より賣物多く一錢と押したるが押目は又小口ながら各店より買物多く無事に[illegible]

▲同店の買千俵石買千俵石
▲同店の買千俵石買千俵石
▲同店の買千俵石買千俵石
▲同店の賣千俵石賣千俵石
▲同店の買千俵石買二三百石

▲仁川現物界 はれたり果して如何なる變動に依つて移動し來るやも頗る注目の要あらん 二十錢より四十錢迄[illegible]

後場 寄付 止 廿五日の九月限 二十圓二十六錢 二十圓二十三錢

●中學生の殺人

しめ殺るが秋雄は元軍艦吉野の副長[illegible]中佐の遺子なり(大阪特電)

[illegible]より天神祭を見物せ[illegible](大阪特電)